

市 民 交 流 課

市民交流関係

1 市民活動促進事業

(1) いせ市民活動センターの管理運営

平成16年4月に開設をし、同年7月から、指定管理者制度を導入して公設民営により運営している。

期 間	委 託 金 額	指定を受けた管理者
<第1期> 自16. 7. 1 至17. 3.31	円 7,828,000	特定非営利活動法人 いせコンビニネット
<第2期> 自17. 4. 1 至21. 3.31	48,202,000	〃
<第3期> 自21. 4. 1 至24. 3.31	46,777,000	〃
<第4期> 自24. 4. 1 至29. 3.31	59,832,000	〃
<第5期> 自29. 4. 1 至 2. 3.31	41,177,000	〃
<第6期> 自 2. 4. 1 至 4. 3.31	29,300,000	〃

ア いせ市民活動センター運営事業

・市民活動の拠点として、また中間支援施設としての市民公益活動の相談、ホームページ、SNS、情報誌(「パルティ」年4回発行)等広報ツールを活用し、市民活動に関する情報の収集及び提供等を行った。

・市民活動を深く広めるため、市民及び団体との交流事業を行った。

(開催したイベント)

開催日	内 容
2.10.17	チラ1グランプリ(リモート開催) 主催：みえイーパーツリユースPC寄贈プログラム (県内中間支援団体との協働)
2.11.15	オンライン会議の仕方 講習会
2.12. 5	NPOグランプリ参加(みえ市民活動ボランティアセンターと協働) (第10回いせ市民活動フェスティバル実行委員会)

3. 2.13	第 17 回みえイーパーツリユース P C 寄贈プログラム(リモート開催) (県内中間支援団体との協働)
3. 3.20	第 10 回いせ市民活動フェスティバル 「みんなで伊勢のまちをきれいにしよう」清掃活動

(新型コロナウイルスの影響により開催を中止したイベント)

開催日	内 容
2. 7. 4	・第 7 回「ダンスワールド in 伊勢」 ・第 26 回ミュージックコミュニケーション
2. 8. 9	登録団体活動報告会(プレゼンテーション方式) & 交流会
2.10.29	救急救命講習会
2.12.12	第 27 回ミュージックコミュニケーション
3. 2.28	第 3 回チラシコンテスト(登録団体とまちづくり協議会が対象)

・ワーキングスペースに印刷機、コピー機を設置するとともに、会議スペース、フリースペース、情報スペースを開放し、市民活動を支援した。

イ センター管理業務

施設利用の登録、使用許可、施設・設備及び機器の維持管理を行った。

(施設稼働状況)

	北 館				利用者数	南 館	
	平 均 稼 働 率					平 均 稼働率	利用者数
	多目的 ホール	A 会議室	B 会議室	1 F ホール			
27. 4. 1 ~ 28. 3.31	% 31.9	% 42.8	% 49.5	% 27.8	人 43,031	% 26.2	人 15,130
28. 4. 1 ~ 29. 3.31	37.1	48.6	54.3	32.6	43,911	28.7	15,623
29. 4. 1 ~ 30. 3.31	34.6	45.9	49.7	39.7	46,014	26.1	18,762
30. 4. 1 ~ 31. 3.31	32.5	42.3	48.9	35.7	35,737	20.7	14,170
31. 4. 1 ~ 2. 3.31	30.5	42.6	52.8	29.3	32,232	17.7	13,641
2. 4. 1 ~ 3. 3.31	21.5	39.7	40.3	29.5	17,784	15.5	5,942
2. 4. 1 ~ 3. 3.31 臨時休館 47 日 抜き	24.1	45.1	46.0	34.1	17,784	17.6	5,942

平均稼働率・・・稼働実績時間数 / [稼働可能時間(11 時間) × 稼働可能日数] × 100

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う貸室停止期間 R2.4.15~R2.5.31

(登録団体数)

基準日	28. 3.31	29. 3.31	30. 3.31	31. 3.31	2. 3.31	3. 3.31
登録団体数	169	174	184	181	179	180

ウ 新型コロナウイルス感染症対策に伴う特別支援活動

年月日	事業名称	内容
2. 5.22 ~ 2. 5.24	消毒用アルコール無料配布	いせ市民活動センター登録団体に消毒用アルコールを無料配布(1 団体につき 1)。66 団体が利用。
2. 8. 1	「メイクガウン」ボランティア養成講座への協力	「メイクガウン」ボランティア養成講座に協力団体として、会場を無償提供。 「メイクガウン」ボランティア養成講座 コロナ禍で不足する医療従事者用使い捨てガウンをボランティアで作成する講座。 【共催】NPO 法人三重防災市民会議、伊勢市ボランティアセンター
2. 9. 5 ~ 2. 9. 7	消毒用アルコール無料配布	いせ市民活動センター登録団体に消毒用アルコールを無料配布(1 団体につき 1)。15 団体が利用。
2.10.30 2.11.30	Zoom 講習会の開催	新型コロナウイルス感染症対策の影響により、Web 会議の利用が急増したことに伴い実施(2 団体 19 名が参加)。
2.11. 1~	非接触型赤外線温度計貸出支援事業	いせ市民活動センター登録団体のコロナ禍での活動を支援するため、非接触型赤外線温度計を無料で貸出(7 団体利用)。
2.11.15	Zoom による「リモート会議の仕方」講習会	いせ市民活動センター登録団体向けに開催(6 団体 10 名が参加)。
通年	手作りマスクの無料配布	寄付のあった手作りマスクをいせ市民活動センターの窓口に設置し、無料で配布。

上記の他、Zoom の勉強、オンラインによる講習会サポート、事業に関する資金調達の相談等、いせ市民活動センター登録団体からの個別相談に対応した。

(2) いせ市民活動センターの新型コロナウイルス感染症拡大防止対策事業

運営事業(指定管理)とは別に、他の公共施設と連動した市の施策として、以下の備品を

整備した。

サーモグラフィカメラ、手指消毒用オートディスペンサー 各2台 等

2 伊勢のまつり開催事業

市民が「見て」、「参加して」楽しめる行事として、66団体の代表者等からなる実行委員会にて毎年10月に実施しているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止した。

中止決定日 令和2年5月22日

中止公表日 令和2年5月27日

<参考：実施していた場合の概要>

開催日 令和2年10月10日(土)、11日(日)

会場 県道鳥羽松阪線(曾祢交差点～一之木交差点～伊勢市駅前)

開催規模 動員数 2日間で約14万人

出演団体 のべ約100団体 4,000人

出店 のべ約120団体 1,000人

3 伊勢市矢持会館管理事業

農林漁業体験実習館を、平成23年4月1日から名称を変更し、指定管理者制度を導入して公設民営の集会施設として運営している。地域住民のふれあいの場に供し、交流活動を通じた地域づくりの推進を図っている。

(1) 指定管理者 矢持町下村区

(2) 指定管理料 275,000円(年額)

(3) 指定管理期間 平成28年4月1日～令和3年3月31日

(4) 利用者数 404人(令和2年度)

コミュニティセンター関係

1 地区コミュニティセンター維持管理

地域社会づくりを推進するための地域活動の場に供するとともに、市民の生活文化の向上及び福祉の増進を図るため、地区コミュニティセンターを設置している。地域活動のための場として地域住民が会議室及び図書室を利用している。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一時貸室及び図書分室の利用を停止した。

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う貸室・図書分室利用停止期間 R2.4.15～R2.5.31

コミュニティセンター使用状況

(1) 神社地区コミュニティセンター(みなとふれあいセンターに併設)

図書室貸出状況	
貸出人数	貸出冊数
人	冊
412	1,159

(2) 大湊地区コミュニティセンター

会議室利用状況				図書室貸出状況	
会議室 1	会議室 2	計	利用人数	貸出人数	貸出冊数
件	件	件	人	人	冊
33	14	47	452	1,320	2,816

(3) 浜郷地区コミュニティセンター

会議室利用状況				図書室貸出状況	
会議室 1	会議室 2	計	利用人数	貸出人数	貸出冊数
件	件	件	人	人	冊
163	5	168	2,236	683	1,831

(4) 宮本地区コミュニティセンター

会議室利用状況				図書室貸出状況	
会議室 1	会議室 2	計	利用人数	貸出人数	貸出冊数
件	件	件	人	人	冊
128	52	180	1,653	201	462

(5) 豊浜地区コミュニティセンター

会議室利用状況				図書室貸出状況	
会議室 1	会議室 2	計	利用人数	貸出人数	貸出冊数
件	件	件	人	人	冊
57	21	78	1,076	154	249

(6) 北浜地区コミュニティセンター

会議室利用状況				図書室利用状況	
会議室 1	会議室 2	計	利用人数	貸出人数	貸出冊数
件	件	件	人	人	冊
115	20	135	1,613	195	502

(7) 城田地区コミュニティセンター

会議室利用状況				図書室貸出状況	
会議室 1	会議室 2	計	利用人数	貸出人数	貸出冊数
件	件	件	人	人	冊
218	56	274	4,330	706	1,691

(8) 沼木地区コミュニティセンター・伊勢市沼木農村環境改善センター

会議室利用状況				図書室貸出状況	
会議室	生活研修室	計	利用人数	貸出人数	貸出冊数
件	件	件	人	人	冊
29	27	56	513	187	431

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う貸室・図書分室利用停止期間 R2.4.15~R2.5.31

2 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
黒瀬町 地内	浜郷支所下水道 接続工事	下水道工事 一式	円 528,000	2.11.9	2.12.28
上地町 地内	城田支所2階 会議室空調機 取替工事	空調機工事 一式	1,210,000	2.11.11	2.12.10

国際交流事業関係

市民ボランティア及び外国籍を持つ人々と「ともに暮らす国際交流のまちづくり」を推進した。

(1) 在住外国人への支援

ア 技能実習生を対象にした日常生活に関する説明会を開催（1回）

イ 外国人受入れのための避難所運営に関する研修会の開催

三重県国際交流財団に委託し、市内在住外国人（ベトナム4人、中国3人）に外国人避難者役になっていただき、避難所受付での対応を中心に研修を行った。

- ・日時 令和2年11月22日（日）13：00～16：00
- ・場所 伊勢市防災センター4F防災多目的ホール
- ・対象 大湊、神社、四郷地区の市避難所担当職員及びまちづくり協議会関係者
- ・参加人数 市避難所担当職員10人、まちづくり協議会関係者22人

ウ 新型コロナウイルス感染症に関する情報提供

- ・在住外国人世帯への情報提供

県内及び市内の感染状況の変化、ルールの変化、特別定額給付金等の施策実施等、関連所属と情報共有しながら、適宜必要な資料を郵送した。

	発送日	世帯数
第1回	2.4.23	世帯 821
第2回	2.5.13	815
第3回	2.8.7	811
第4回	2.11.26	823
第5回	3.1.28	845

・関係団体への情報提供

市内の技能実習生管理組合や伊勢市国際交流協会等へ適宜メールにて情報提供を行い、周知を依頼した。

・在住外国人向け啓発チラシの掲示

絵で理解できるデザインかつ多言語情報にアクセスできる QR コード等を付した在住外国人向けチラシを作成し、市内公共施設、スーパーやコンビニエンスストア等、55 施設に掲示を依頼した。

エ 三重県市町多文化共生ワーキングへの参加

外国人の定住化が顕著になる中、各市町と県内の在住外国人と共生する施策を考えるための多文化共生ワーキングが三重県により開催され、計 9 回参加した。

(2) 伊勢市国際交流協会との協働

会員数 個人会員 63 人、団体会員 4 団体、企業会員 1 企業 (令和 3 年 3 月末)

国際交流事業を通して、市民と外国の人々との交流、親善の促進と国際相互理解の増進を図り、世界平和の理念の達成に資するとともに、国際感覚あふれるまちづくりに寄与することを目的として活動している。市は、事務局としてその活動を支援し、市民とともに国際交流・多文化共生に関する事業を推進している。

令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、例年開催している料理パーティーや語学講座を取りやめ、オンラインの活用を進めた。

オンラインの活用については、事業の ICT 化や新しい生活様式に沿った施策として、市からも別途補助金を交付し、支援を行った。

また、東京オリンピック・パラリンピックに関連し、伊勢市が進めるホストタウン事業の相手国 (ラオス) の文化を手軽に触れる取組等を実施した。

ア 外国人住民のための日本語教室

場所 いせ市民活動センター南館 2 階

日時 毎週火曜日 10 : 00 ~ 11 : 30 25 回開催

毎週木曜日 19 : 00 ~ 20 : 30 28 回開催

毎週日曜日 10 : 00 ~ 11 : 30 27 回開催

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う休室期間

令和 2 年 2 月 27 日 (木) ~ 令和 2 年 6 月 14 日 (日)

令和 2 年 8 月 4 日 (火) ~ 令和 2 年 8 月 30 日 (日)

令和 2 年 9 月 29 日 (火) ~ 令和 2 年 10 月 4 日 (日)

令和 3 年 1 月 24 日 (日) ~ 令和 3 年 2 月 28 日 (日)

学習支援ボランティア (協会会員) 延べ 678 人

学習者 (外国人) 延べ 391 人

イ 月刊会報誌への国際交流・多文化共生にかかる特集記事の掲載

世界の料理、在住外国人のエッセイ等

ウ ラオス写真展の開催

ラオスの文化を周知するため、協会員によるラオス訪問時の写真パネルを展示した。同時に市のホストタウン事業の啓発パネルも展示した。

開催期間 令和2年10月4日(日)～11月2日(月)

場 所 いせ市民活動センター北館2階ギャラリー

エ 伊勢市国際交流協会オンライン化事業

日本語教室のオンライン環境構築を行った。

開催日	内 容	対象	参加者
2.12.23	日本語教室の現状の共有	協会員、事務局、 委託業者	人 6
3. 1.10	第1回 ZOOM 技術講習(基礎編)	協会員	10
3. 1.19	オンライン日本語教室に関する 課題検討会	協会員、事務局、 委託業者	5
3. 2. 9	第2回 ZOOM 技術講習及びオンラ イン日本語学習支援講座に向け た打合せ	協会員、事務局、 委託業者	5
3. 2.14	第2回 ZOOM 技術講習(主催者 編)	協会員	15
3. 2.28	オンライン日本語学習支援講座 講師：三重大学 松岡知津子准 教授	協会員	18 (うちオンライ ン参加 10)
3. 3. 9	オンライン日本語教室実施に向 けた検討会	協会員、事務局、 委託業者	5
3. 3.18	オンライン日本語教室試行実施	協会員 外国人学習者	協会員 3 学習者 1

(3) 伊勢市国際交流オンラインセミナーの開催

市民の国際感覚の醸成を目的として、市内外の国際交流・多文化共生関係団体で構成する伊勢市国際交流フェスティバル実行委員会を結成している。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、伊勢市国際交流フェスティバル代替事業として、伊勢市国際交流オンラインセミナーを開催した。

また開催後、申込者限定でセミナーの動画を配信した。

開催日 令和3年3月7日(日)

動画配信期間 (Youtube) 令和3年3月11日(木)～3月26日(金)

参加人数 41人

- 内 容
- 司会：濱畑 静香氏 / 皇學館大学准教授
- ・第1部 「泣いた！笑った！私の奮闘記」
講師：伊藤 愛奈氏
(JICA 海外協力隊 0G ラオス派遣)
 - ・第2部 「通訳さんへのインタビュー」
講師：唐 文軒氏
(一般社団法人国際交流支援協会国際業務部部長 / 中国出身)
雙田 ジェット氏
(鈴鹿市教育委員会外国人就学促進員 / フィリピン出身)
 - ・伊勢市の東京オリンピックホストタウン事業の紹介

災害ボランティアセンター関係

1 災害ボランティア支援事業

平成24年1月に締結した「伊勢市災害ボランティアセンターの設置と運営等に関する協定」に基づき、社会福祉協議会と協働で、伊勢市災害ボランティアセンターを運営している。センターは災害時以外も常時開設しており、各種研修事業を実施しているほか、災害時に備えた関係団体・機関等との協力支援体制構築に取り組んでいる。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症を踏まえ、感染症下での災害ボランティア事業のありかたについて県下の情報共有に努めるとともに、状況に合う研修内容に変更した。

(1) 会議・研修

開催日	内 容	開催場所	参加人数
2. 7. 15	関係機関との連絡会	防災センター	人 22
2. 7. 28	「メイクガウン」ボランティア養成講座 (コロナ禍で不足する医療従事者用使い捨て ガウンを、ボランティアで作成する講座) 【共催】NPO 法人三重防災市民会議、伊勢市ボ ランティアセンター	社協ボランテ ィアセンター	18
2. 8. 1		サテライト「げ んこころーむ」	36
2. 8. 4		19	
2. 8. 18		(8/1のみ い せ市民活動セ ンター)	11
2. 8. 29	災害ボランティア入門講座	防災センター	32

3. 1.17	現地協働プラットフォーム研修(事前講習)	ハートプラザ みその	人 17
-	現地協働プラットフォーム研(模擬訓練) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため 次年度に延期	-	-

(2) 令和2年7月豪雨にかかる支援活動

ア 災害ボランティア活動

令和2年7月31日(金)～8月11日(火)

関係各課と連携し、浸水地域に災害ボランティアセンター活動のチラシ配布、床下乾燥に関する啓発チラシ配布を実施。また床上浸水宅への日赤緊急キットの配布を実施。

イ 支援金募集活動(募金箱設置)

令和2年8月17日(月)～11月30日(月)

募金箱設置先：伊勢市役所(本庁、二見・小俣・御園総合支所)

伊勢市社会福祉協議会(本書、中部・西部・東部・北部支所、げんこころーむ)

いせ市民活動センター

伊勢市ボランティア連絡協議会

共催：伊勢市ボランティア連絡協議会、いせ市民活動センター

支援金額：14,528円

支援金の寄付先：中央共同募金会

男女共同参画関係

1 男女共同参画に関する啓発記事の掲載

男女共同参画に関する意識啓発のため、「広報いせ」を活用し、公募市民3人の企画編集による啓発記事「めざそや！共同参画」を3回掲載した。

発行日	内 容
7月1日号	・男女共同参画って女性を強くするっていうこと？ ・性別にとらわれず、一人一人が暮らしやすい社会へ
10月15日号	・ワーク・ライフ・バランスって一人一人違ってイイの？ ・ワーク・ライフ・バランスに取り組み、健康で豊かな生活を！
2月15日号	・DVは重大な人権侵害！～女性の3人に1人が被害に～ ・早くDVに気付こう！もし気付いたら……

2 男女共同参画推進事業

「伊勢市男女共同参画都市宣言」「伊勢市男女共同参画推進条例」の理念を広く市民に周知するとともに、「第3次伊勢市男女共同参画基本計画」の実現に向け、各種の取組を行った。主に市民向けの啓発事業の企画運営は、市民団体「NPO男女共同参画れいんぼう伊勢」に委託した。

(1) パートナーの日の啓発

男女がお互いを思いやり、感謝する日として条例で定めた「パートナーの日(8月17日)」を広く市民に周知するため、啓発事業を実施した。

ア 市庁舎における啓発

令和2年8月3日から17日まで、市役所本館において懸垂幕を掲揚するとともに、本館1階催事コーナーにおけるパネル展示により、来庁者へ啓発を行った。

イ 広告掲載による啓発

令和2年8月8日発行伊勢志摩ホームニュースへの広告掲載を行った。

(2) 三重県内男女共同参画連携映画祭の開催

男女共同参画に関する機運の醸成や意識啓発を効果的に行うことを目的に、毎年、男女共同参画週間を中心に開催している。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため県内17会場が中止を決定し、本市を含めた3会場が時期を延期し開催した。

(伊勢市での開催状況)

開催日	開催場所	内容	参加人数
2.11.21	伊勢市ハートプラザみその多目的ホール	映画「長いお別れ」上映会	人 150

(3) その他男女共同参画に関する啓発

市民に広く男女共同参画を啓発する活動を行った。

開催日	開催場所	内容	参加人数
2. 6.23 ~ 6.29	伊勢図書館	男女共同参画週間(6/23~6/29)の啓発	-

3 男女共同参画審議会の開催

男女共同参画に関する施策の実施状況等に対して意見を徴するため開催した。

	開催日	内容	出席委員数
第1回	2. 8.19	・令和元年度事業実施状況報告書(案)について ・女性活躍推進事業について	人 13/15
第2回	3. 2.19	・令和元年度事業実施状況報告書(案)について ・令和2年度事業報告	12/15

4 企業に向けた啓発

企業における男女共同参画の推進のため、企業訪問を実施した。また、事業者等における男女共同参画の取組を促進するため、積極的に取り組んでいる事業者を表彰した。

(1) 企業訪問

実施日	訪問先	内容
2.12.4 ~12.11	シンフォニアテク ノロジー株式会社 伊勢製作所 他15社	・働きやすい職場づくり、女性管理職登用等の啓発

(2) 男女共同参画推進事業者等の表彰

- ・女性の活躍推進「きらり」賞
有限会社くるべ
- ・仕事と生活の調和实践賞
株式会社ゴーリキ
株式会社コムデック

5 女性活躍推進事業

(1) ワーク・ライフ・バランス推進セミナーの開催

生産性を高めるワーク・ライフ・バランスの取り組みについての講演と、市内でワーク・ライフ・バランスの推進等に積極的に取り組んでいる事業者の取組事例を共有し、男女がともに働きやすい職場環境づくりを推進するためのセミナーを開催した。

開催日 令和3年1月18日(月)14:00~16:00

開催場所 伊勢商工会議所4階中ホール

内容 講演

講師：若林 辰也さん(株式会社デルタスタジオ代表取締役)
令和2年度伊勢市男女共同参画推進表彰事業者による取組事例発表
有限会社くるべ、株式会社ゴーリキ、株式会社コムデック

参加者 30社(来場・オンライン視聴・録画配信)

(2) 女性管理職育成セミナーの開催

自分らしくリーダーシップを発揮するためのヒント、やる気を引き出すコミュニケーション術等女性管理職に必要なスキルを身につけるためのセミナーを開催した。

開催日 令和3年2月4日(木)13:00~17:00

開催場所 オンライン開催

内容 第1部 「管理職とは?リーダーシップとは?」
第2部 「部下やメンバーのやる気を引き出す関わり方」

講師：小川 由佳さん(F A I T H代表)

参加者 11人

6 DV等被害者にかかる事務

(申出件数)

内 容	新 規	解 除	変 更	継 続
件 数	20 件	18 件	17 件	26 件

7 出会い・結婚支援事業

平成27年10月にオープンした「いせ出会い支援センター」を拠点に、結婚を望む本人や家族からの相談への対応、出会いの場となる婚活イベント等の情報提供、結婚に関する意識啓発に向けたセミナーを開催し、結婚を希望する人が結婚できる地域社会の実現を目指した。

(1) センターの事業内容

ア 業務委託

委 託 業 務 名	委 託 期 間	委 託 金 額	委 託 業 者
いせ出会い支援センター 運営にかかる業務委託	自 2. 4. 1 至 3. 3. 31	円 9,917,433	株式会社デルタスタジオ

イ 利用者件数

性別	来 所	電 話	メー ル	相 談	チ ラ シ	計
男性	532 件	67 件	175 件	59 件	1,049 件	
女性	629	42	80	22		
計	1,161	109	255	81	1,049	2,655

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う来所・相談停止期間 R2.4.15~R2.5.31

ウ 婚活イベントの開催

県営サンアリーナレセプションルームにおいて、市内又は近隣市町に在住・在勤している独身男女及び伊勢市に興味のある独身男女を対象に、出会いイベントを開催した。

開 催 日	内 容	参加人数
2.10.25	「ハロウィンイベント」 第1部 25歳～32歳、第2部 33歳～40歳の2部制 1対1トークタイム、投票等	29 人
2.12.20	「クリスマスイベント」 第1部 25歳～32歳、第2部 33歳～40歳の2部制 1対1トークタイム、投票等	27
3. 2. 7	「バレンタインイベント」 第1部 25歳～32歳、第2部 33歳～40歳の2部制 1対1トークタイム、投票等	21

エ フリーマガジン「いとし・いせ」の発行

いせ出会い支援センターをPRするため、結婚・出産・育児に関する情報を掲載した地域密着型の情報紙を毎月発行した。

発行部数：3,500部/月

(2) 企業の結婚支援促進事業

市内及び定住自立圏域内市町に事業所を置く企業に、従業員の結婚を応援し、働きやすい職場環境づくりに取り組んでいただくよう、いせ若者応援ネットワーク「いせむすび」への登録を促進した。

また、企業の従業員から「仕事と結婚・子育てとの両立」についての意見を聴取した。その意見をもとに、大学生に「仕事と結婚・子育て」の希望をかなえるための課題や自身のライフプランについて考えてもらう機会を提供した。

ア 登録企業数 199社(3.3.31現在)

イ 希望がかなうライフプランワークショップの開催

開催日	会場	内容	参加人数
2.10.25	県営サンアリーナ	仕事と結婚・子育てとの両立について	人 社会人 29
2.11.4	皇學館大学	定住自立圏共生学 定住自立と少子化対策 いせ出会い支援センター、企業による婚活支援 について ほか	大学生 100
2.11.11	皇學館大学	定住自立圏共生学 定住自立と少子化対策 いせむすび登録企業向けに行う事業について	大学生 100
2.11.18	皇學館大学	定住自立圏共生学 定住自立と少子化対策 いせむすび登録企業向けに行う事業について	大学生 100

(3) 伊勢市版婚姻届等の提供

少子化対策及びシティプロモーションの一環として、株式会社リクルートの専用サイト上で地域の生活情報や観光情報の発信及び伊勢市独自の婚姻届・出生届をダウンロードできるようにし、結婚・出産のイメージアップを図った。

・ダウンロード数

婚姻：1,556件

出生：147件

自治会関係

1 区長謝礼事業

市内173自治会の活動について、行政委員等その候補者推薦業務等、依頼事項に対する謝礼を交付した。

報償費総額 7,410,000 円

2 自治会活動補助事業

(1) 振興助成金事業

市内 57 の地区の円滑な運営と健全な自治会活動を推進するため、助成金を交付した。

	自治会数	対象世帯数	振 興 助 成 金		
			平 等 割	世 帯 割	計
本庁管内	自治会 10	世帯 1,537	円 500,000	円 537,950	円 1,037,950
支所管内	20	6,105	1,000,000	2,136,750	3,136,750
小俣総合支所管内	27	8,386	1,350,000	2,935,100	4,285,100
計	57	16,028	2,850,000	5,609,800	8,459,800

(2) 元気なまちづくり協働事業

市と自治会が協働して地域社会の活性化を図るため、自治会が各地域において主体的に取り組む事業に対して、補助金を交付した。

補助金額の算定は、対象事業費に3分の2を乗じた額か、世帯数に応じて算出された額のいずれか低い額を限度額として交付した。

(対象事業)

ア 地域に根ざした伝統文化の継承事業	4 件
イ 地域の特性を生かしたイベント等の地域おこし事業	0 件
ウ 地域内の清掃美化等の環境保全事業	20 件
エ 補導や啓発、巡視活動等の青少年育成事業	2 件
オ 訓練や啓発、巡視活動等の防犯・防災事業	2 件
カ 少子高齢化社会対策やバリアフリー社会実現のための社会福祉事業	1 件
キ 住民の交流を通じ、地域コミュニティを活性化するための地域交流事業	5 件
ク その他市長が特に必要と認める事業	0 件
計	34件

(対象自治会) 58 自治会

交付申請・決定 2,422,000 円 (40 自治会)

交付確定 633,000 円 (20 自治会)

(3) 広報紙配布等事業

市の広報紙等の配布事業等を行う自治会に対して、交付金を交付した。

交付自治会数 58 自治会

交付金額 31,517,600 円

3 コミュニティ助成事業

(一財)自治総合センターが、宝くじの社会貢献広報事業費として受け入れる受託事業収入を財源とした事業で、コミュニティ活動の健全育成を図り、コミュニティ組織である自治会等にコミュニティ助成事業補助金を交付した。

一般コミュニティ助成事業

自治会名	補助金額	事業名
中小俣自治区	円 1,900,000	空調機他コミュニティ活動備品の整備
通町自治会	1,300,000	通町自治会掲示板及びワンタッチテント購入事業
王中島区	2,200,000	テント他コミュニティ活動備品の整備
計	5,400,000	

コミュニティ助成事業(地域防災組織育成助成事業区分ア)

団体名	補助金額	事業名
城田地区まちづくり協議会	円 2,000,000	防災備品の整備

4 自治会コミュニティ放送設備整備補助事業

地域住民のコミュニティ活動の推進を図るため、地域活動の活性化及び地域内の情報伝達手段として、自治会コミュニティ放送設備等を整備する自治会に対して補助金を交付した。

交付自治会数 10自治会(12件)

交付金額 1,180,000円

自治会名	補助金額	事業名
村松町会	円 505,000	【新規】拡声放送設備整備事業
小計	505,000	1自治会(1件)
新出自治区	51,000	【追加】戸別受信機放送設備整備事業
中須町坂東自治会	151,000	〃
鹿海町自治会	102,000	〃
今一色区自治会	17,000	〃
中須町坂東自治会	15,000	〃
中小俣自治区	35,000	〃
上惣自治区	51,000	〃
中須町坂東自治会	15,000	〃
宮前自治区	68,000	〃
南本町自治会	85,000	〃
掛橋自治会	85,000	〃
小計	675,000	9自治会(11件)
合計	1,180,000	10自治会(12件)

5 自治会集会所建設等事業補助金

地域のコミュニティ活動の場を確保することや自治会の負担軽減、集会所の長寿命化のため、自治会等が活動拠点として所有し、維持管理する集会所の修繕、バリアフリー改修及び空調設備整備を行った自治会に対し補助金を交付した。

交付自治会数 6自治会

交付金額 2,580,000円

自治会名	補助金額	補助種別
黒瀬町自治会	円 1,000,000	修繕
サンパークタウン自治会	479,000	
円座町自治会	227,000	
小計	1,706,000	3自治会
旭町自治会	247,000	バリアフリー改修
五十鈴ヶ丘団地自治会	521,000	
小計	768,000	2自治会
西本町自治区	106,000	空調設備整備
小計	106,000	1自治会
合計	2,580,000	6自治会

6 伊勢市総連合自治会事務

各自治会による自治活動について連絡協議し、自治会相互の親和と市民の福祉増進に努めるとともに、市政の発展に寄与することを目的として活動している伊勢市総連合自治会へ補助金を交付した。(補助金 956,000円)

7 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に伴う集会施設用消毒用品の配布

自治会及びまちづくり協議会が所有する集会施設用に消毒用品(アルコール消毒液、マスク、ペーパータオル等)を配布した。(対象施設 194か所)

地域自治推進関係

1 地域自治推進事業

(1)「ふるさと未来づくり」の取組

平成27年度から本格稼働した「ふるさと未来づくり」制度を推進し、地域自治の実現を図った。

ふるさと未来づくり資金のうち活動事業費（基本額）を世帯数に応じた金額に変更し、交付した。

まちづくり協議会においても、地域住民が地域課題を見つけ出し、解決に向けて取り組んだ。

- ・津波被害を想定した防災総合訓練及び災害図上訓練（国の防災まちづくり大賞（消防庁長官賞）受賞）【浜郷地区まちづくり協議会】
- ・民間企業と連携した高齢者を対象にした買い物弱者支援【中島学区まちづくり協議会】
- ・地域住民が危険箇所を回って作成した「水害対策シート」の全戸配布【明倫地区まちづくり協議会】 等

（２）広報活動

ふるさと未来づくり制度の概要やまちづくり協議会が新たに始めた事業紹介を「広報いせ」に掲載するとともに、伊勢市ホームページにおいて各まちづくり協議会のホームページとリンクし、活動を知ることができるようにした。ケーブルテレビ行政番組でも活動を紹介した。

また、まちづくり協議会において地元の小学生とともに「まちの未来について」をテーマに懇談し、地域への認知度向上につなげた。【佐八学区まちづくりの会】

（３）研修会、講演会等の開催

ア 「まちづくり講演会」の開催

「ふるさと未来づくり」に対する理解をさらに深めるとともに、市全体の気運の醸成を図るため、伊勢市社会福祉協議会及び伊勢市西地域包括支援センターと協働で、まちづくり講演会を開催した。

新型コロナウイルス感染症の影響により、対象者をまちづくり協議会役員、宮川左岸地域の自治会役員・サロンの代表者及び企業の地域貢献活動（CSR）担当者に絞り、感染対策を講じて実施した。

開催日 令和2年12月6日（日）

開催場所 伊勢市立桜浜中学校

演 題 （第1部）

講演「国連SDGsの活かし方（入門編）～暮らしやすい地域・働きやすい企業へ～」

まちづくり協議会（有緝まちづくり協議会）・企業からの活動報告

（第2部）

宮川左岸地域のまちづくり協議会・自治会・サロン代表者及び企業の意見交換会

講 師 NPO法人 Mブリッジ 代表理事 米山 哲司さん

有緝まちづくり協議会

三重ダイハツ販売株式会社

参加者 70人

イ 「ふるさと未来づくり意見交換会」の開催

新型コロナウイルス感染症の影響や課題等について、23地区のまちづくり協議会が集まり意見交換会を開催した。

・第1回意見交換会

開催日 令和2年7月8日(水)

参加者 41人

内容 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に伴う事業中止等にかかるふるさと未来づくり資金の取り扱いについて
・今後の事業の実施について
・決算書及び予算書の注意点について
・意見交換会

・第2回意見交換会

開催日 令和2年11月4日(水)

参加者 42人

内容 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に伴う事業中止等にかかる今後の運営について
・まちづくり協議会の現状と課題について
・意見交換会

ウ 「地区担当職員会議」の開催

地区担当職員(新任)向けに「ふるさと未来づくり制度」について説明を行った。

開催日 令和2年7月30日(木)

参加者 6人

内容 地区担当者制度、ふるさと未来づくり制度及びふるさと未来づくり資金の概要について

<地区担当職員>

部課長級職員 87人

(内訳:進修、早修、中島、大湊、佐八、宮山、豊浜東、豊浜西、北浜、東大淀、小俣、明野は各3人、修道、明倫、有緝、神社、浜郷、城田、四郷、二見、今一色、御園は各4人、厚生は5人、沼木は6人)

エ 「職員向け研修」の開催

「ふるさと未来づくり」に対する理解を更に深めるため、一般職員向け研修会を開催した。

開催日 令和2年9月17日(木)

令和2年10月14日(水)

令和2年11月17日(火)

参加者 計48人

内 容 「ふるさと未来づくり制度」の概要やまちづくり協議会の取組について

(4) まちづくり協議会への財政支援

まちづくり協議会が実施する事務事業の財源として、ふるさと未来づくり資金を交付した。

また、まちづくり協議会が実施する「防災機能強化」等地域課題解決のための事業に対し、活動事業費（臨時特例分）を交付した。

交付金額：170,400,867 円

- ・ 事務運営費、活動事業費（基本額）62,410,920 円（23 団体）
- ・ 活動事業費（臨時特例分） 3,679,436 円（9 団体、12 件）
- ・ 一括交付金化事業 104,310,511 円（18 団体）

2 市民活動補償制度

「ふるさと未来づくり」での活動を含め、市民が安心して活動を行えるよう、活動拠点が伊勢市にある市民団体等の公益活動中に起きた傷害事故や賠償責任事故を損害保険により、補償する制度を平成 23 年度から導入している。

保険の名称	市民活動補償制度費用保険
保険期間	令和 2 年 6 月 1 日午後 4 時から令和 3 年 6 月 1 日午後 4 時まで
契約金額	967,560 円
対象事故	傷害事故、賠償責任事故、特定疾病事故、一般疾病事故
適用件数	4 件（傷害補償 4 件）

合併調整関係

地域審議会（市町村の合併の特例に関する法律の規定に基づき設置）を廃止した。

なお、各地区地域審議会（伊勢、二見、小俣、御園）から、今後の市政運営に関する提言書を受け取った。

戸 籍 住 民 課

戸籍住民係

1 住民関係

(1) 住民基本台帳世帯数(令和3年3月31日現在)

区 分	日本人	外国人	混合世帯	計
世 帯 数	54,851 世帯	737 世帯	220 世帯	55,808 世帯

(注) 伊勢市総数

(2) 住民基本台帳人口(令和3年3月31日現在)

区 分	日本人	外国人	合 計
人 口	男	457 人	58,675 人
	女	652	65,178
	計	1,109	123,853

(注) 伊勢市総数

(3) 住民異動状況(令和3年3月31日現在)

区 分	件 数	
届 出	転 入	2,680 件
	転 出	3,139
	転 居	2,055
	世 帯 変 更	1,406
そ の 他	43	
職 権	出 生	755
	死 亡	1,556
	職 権 消 除	11
修 正	2,000	
計	13,645	

(注) 伊勢市総数

2 戸籍関係

(1) 戸籍数及び本籍人口(令和3年3月31日現在)

戸 籍 数	60,681 戸籍
本 籍 人 口	144,338 人

(注) 伊勢市総数

(2) 届出事件の状況

事件の種類	届 出	他市町村からの送付	合 計
出 生	626 件	377 件	1,003 件
婚 姻	537	747	1,284
離 婚	149	125	274
死 亡・失 踪	1,291	340	1,631
養 子 縁 組	60	53	113
養 子 離 縁	22	8	30
国籍の得喪・留保	11	13	24

本籍表示の変更	197 件	249 件	446 件
上記以外で氏・名の変更が生じるもの	205	121	326
上記以外で身分に変更が生じるもの	20	15	35
訂正・追完	59	10	69
不受理申出	22	11	33
その他	0	3	3
計	3,199	2,072	5,271

(3) 戸籍事務処理状況

区 分	件 数
新 戸 籍 編 製	695 件
戸 籍 全 部 消 除	988
違 反 通 知	3
戸籍の再製・補完	0
そ の 他	1
計	1,687

(4) 人口動態調査票作成状況

区 分	件 数
出 生	821 件
死 亡	1,618
死 産	20
婚 姻	586
離 婚	180
計	3,225

(注) 人口動態調査令(昭和21年勅令第447号)に基づき保健所へ提出。伊勢市総数

(5) 相続税法による死亡通知件数 1,620 件

(注) 相続税法(昭和25年法律第73号)第58条に基づき税務署へ通知。伊勢市総数

(6) 埋火葬許可状況

区 分	大 人	小 人	胎 児	計
埋 火 葬	1,184 件	1 件	14 件	1,199 件

(7) 民刑事項等処理状況

区 分	件 数
犯 罪 関 係 通 知	218 件
民 事 関 係 通 知	42
身 元 事 項 照 会	2,097
計	2,357

(注) 伊勢市総数

(8) 伊勢市版出生届・婚姻届取扱件数 (注) 伊勢市総数

出生届 15 件 ・ 婚姻届 200 件

3 証明関係

(1) 住民票関係の交付等の状況

区 分		有 料	無 料	計	収 入 金 額	
住 民 票 の 写 し	本庁	27,358 件 〔2,424〕	3,904 件	31,262 件 〔2,424〕	5,471,600 円 〔484,800〕	
	支所	7,973	29	8,002	1,594,600	
広域交付住民票の写し	本庁	44	0	44	8,800	
	支所	5	0	5	1,000	
戸籍の附票の写し	本庁	2,075 〔77〕	5,143	7,218 〔77〕	415,000 〔15,400〕	
	支所	622	4	626	124,400	
住民票記載事項証明	本庁	591	32	623	118,200	
	支所	245	0	245	49,000	
住民基本台帳閲覧	本庁	25	1	26	5,000	
	支所	0	0	0	0	
印鑑登録証明	本庁	15,403 〔2,190〕	33	15,436 〔2,190〕	3,080,600 〔438,000〕	
	支所	6,955	26	6,981	1,391,000	
諸 証 明	身 分 証 明	本庁	729	0	729	145,800
		支所	171	0	171	34,200
	そ の 他	本庁	254	97	351	50,800
		支所	38	3	41	7,600
マイ ナンバー	通知カード	本庁	31	11	42	15,500
		支所	9	2	11	4,500
	個 人 番 号 カ ー ド	本庁	68	11,820	11,888	54,400
		支所	0	0	0	0
本 庁 計		46,578 〔4,691〕	21,041	67,619 〔4,691〕	9,365,700 〔938,200〕	
支 所 計		16,018	64	16,082	3,206,300	
合 計		62,596 〔4,691〕	21,105	83,701 〔4,691〕	12,572,000 〔938,200〕	

(注1)〔 〕はコンビニ交付による内数

(注2) 住民基本台帳閲覧は、閲覧用紙1枚(20人まで抽出可能)で1件
住民基本台帳の閲覧団体数 14団体(うち公用 0団体)

(2) 戸籍謄抄本交付等の状況

区 分			件 数			収 入 金 額
			有 料	無 料	計	
戸 籍	全部事項 (謄 本)	本庁	9,526 件 〔 370 〕	3,916 件	13,442 件 〔 370 〕	4,286,700 円 〔 166,500 〕
		支所	2,429	7	2,436	1,093,050
	個人事項 (抄 本)	本庁	2,278 〔 184 〕	73	2,351 〔 184 〕	1,025,100 〔 82,800 〕
		支所	1,017	0	1,017	457,650
	一部事項	本庁	0	11	11	0
		支所	0	8	8	0
	記載事項	本庁	0	0	0	0
		支所	0	0	0	0
	計	本庁	11,804 〔 554 〕	4,000	15,804 〔 554 〕	5,311,800 〔 249,300 〕
		支所	3,446	15	3,461	1,550,700
		計	15,250	4,015	19,265	6,862,500
	除 籍 改製原戸籍	全部事項 (謄 本)	本庁	9,777	8,458	18,235
支所			2,245	17	2,262	1,683,750
個人事項 (抄 本)		本庁	58	41	99	43,500
		支所	13	0	13	9,750
一部事項		本庁	0	0	0	0
		支所	0	0	0	0
記載事項		本庁	0	0	0	0
		支所	0	0	0	0
計		本庁	9,835	8,499	18,334	7,376,250
		支所	2,258	17	2,275	1,693,500
		計	12,093	8,516	20,609	9,069,750
受 理 証 明 等		本庁	514 (105)	0	514 (105)	290,150 (147,000)
	支所	6 (0)	0	6 (0)	2,100 (0)	
届書記載事項証明	本庁	19	1	20	6,650	
	支所	3	0	3	1,050	
閱 覧	本庁	0	0	0	0	
	支所	0	0	0	0	
本 庁 計		22,172 (105) 〔 554 〕	12,500	34,672 (105) 〔 554 〕	12,984,850 (147,000) 〔 249,300 〕	
支 所 計		5,713	32	5,745	3,247,350	
合 計		27,885 (105) 〔 554 〕	12,532	40,417 (105) 〔 554 〕	16,232,200 (147,000) 〔 249,300 〕	

(注) () は特別受理証明書、〔 〕はコンビニ交付による内数

(3) 郵送請求処理件数

区 分	有 料	無 料	返 戻	取 扱 件 数
戸 籍 関 係 証 明	8,104 件	6,346 件	965 件	25,575 件
住 民 票 関 係 証 明	4,967	4,725		
諸証明関係(身分証明等)	405	63		
計	13,476	11,134		

(注) 「(1) 住民票関係の交付等の状況」及び「(2) 戸籍謄抄本交付等の状況」の内数

(4) 電子証明書の発行状況(個人番号カードへの記録分)

有 料	無 料	計	金 額
69 件	15,234 件	15,303 件	13,800 円

(5) コンビニ交付

全国のコンビニエンスストア等店舗において各種証明書が取得できるようにすることで、市民の利便性とサービス向上を図った。

取得できる証明書	住民票の写し、印鑑登録証明書、戸籍全部(個人)事項証明書、戸籍の附票の写し、所得(課税)証明書、課税証明書、非課税証明書
利用可能店舗 (令和3年3月31日現在)	全国のセブンイレブン、ローソン、ファミリーマート、セイコーマート、イオンリテール、コミュニティ・ストア、エコーブ鹿児島、ミニストップ、ポプラ、イオン北海道、日本郵便、ウェルシア薬局、平和堂、イオン九州、丸久、マルト、イオン琉球、光洋、イオン東北、フジ、DCMダイキ、島忠、スパーク、カスミ、銀ビルストアー、マックスバリュ南東北、中部薬品、クリエイトエス・ディー、仁科百貨店、ラルズ、オークワ、サッポロドラッグストアー、ココカラファインヘルスケア、たつみ、ユニバース、福井県民生活協同組合、光洋ショップ-プラス、グランマート、マックスバリュ東海、マックスバリュ西日本、生活協同組合コープしが(マルチコピー機を設置している店舗に限る。)

4 印鑑登録関係

(1) 印鑑登録数(令和3年3月31日現在) 85,087 件(伊勢市総数)

(2) 印鑑登録事務処理状況(伊勢市総数)

区 分	件 数	
増	登 録	3,951 件
	そ の 他	0
	計	3,951
減	廃 止	165
	亡 失	1,332
	死 亡	1,416
	転 出	1,255
	そ の 他	159
	計	4,327

5 支援措置関係

ドメスティック・バイオレンス等の被害者の保護のための措置として、住民基本台帳法による住民票の写し発行抑止及び戸籍の附票の写し発行抑止を行った。

住民基本台帳事務における支援措置者数（令和3年3月31日現在）

区 分	申 出 者	併せて支援を求める者	合 計
当市での申出受理	37 人	44 人	81 人
他市からの支援要請	65	67	132
計	102	111	213

6 特別永住者関係

特別永住者証明書の交付申請等を受け、法務省へ申請書を送付し、届いた証明書を申請者へ交付した。

特別永住者事務状況（伊勢市総数）

異 動 事 由	件 数	異 動 事 由	件 数
許 可	0 件	再 交 付 (交 換 希 望)	0 件
証交付(法施行前未取得)	0	再 交 付 (紛 失)	1
証 交 付 (切 替)	0	有 効 期 間 更 新	15
再 交 付 (汚 損 等)	0	記 載 事 項 変 更	0

7 住居表示事務

住居番号の申請を受け、実地調査を行うなどして住居番号を付定、変更し、それぞれの申請者へ通知した。

新規付定 ()はうち枝番号の付定数

住 居	事 務 所	事業所等	計
79 件 (24)	3 件 (1)	3 件 (1)	85 件 (26)

変更 ()はうち枝番号への変更数

住 居	事 務 所	事業所等	計
1 件 (1)	0 件 (0)	0 件 (0)	1 件 (1)

8 自衛官募集事務

自衛隊三重地方協力本部伊勢地域事務所長から依頼を受け、懸垂幕掲示、広報いせ、文字放送を通じての広報等、新規隊員募集の事務補助を行った。

なお、市内から8名（陸上自衛隊7名、航空自衛隊1名）の入隊者があった。

9 伊勢市戸籍住民関係窓口業務等委託

安定した市民サービスと民間事業者の技術と創意工夫を活用したより一層快適な市民サービスを提供するため、窓口業務等を民間事業者に委託した。

	第 2 期	第 3 期	備考
契約締結日	平成29年 8月 9日	令和2年 8月17日	
履 行 期 間	平成30年 1月 1日 ~ 令和2年12月31日	令和3年 1月 1日 ~ 令和5年12月31日	3 年間
業 務 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 証明書交付請求の受付 ・ 証明書の発行・交付 ・ 戸籍届出(出生・死亡・婚姻・離婚等)の受付・入力業務 ・ 住民異動届の受付・入力業務 等 		同左
契 約 金 額	161,640,000 円	168,228,000 円	税抜

うち令和2年度分	40,410,000円	14,019,000円	税抜
選定方法	プロポーザル方式	同左	
委託業者	株式会社エイジェック 名古屋オフィス 愛知県名古屋市中村区名駅1丁目1番1号	株式会社 ニチイ学館 東京都千代田区神田駿 河台2丁目9番地	

支所関係

1 住民関係・戸籍関係

(1) 住民票関係・戸籍謄抄本等の交付状況

区分	神社支所	大湊支所	浜郷支所	宮本支所	豊浜支所
戸籍	687件 395,100円	348件 188,400円	1,013件 589,450円	544件 291,300円	897件 525,750円
住民基本台帳 関係	1,135 226,800	672 134,000	1,696 337,800	1,026 204,200	990 198,000
印鑑証明	733 146,200	535 107,000	1,096 218,200	844 166,800	994 198,200
諸証明	38 7,000	12 2,400	30 6,000	25 5,000	24 4,800
マイナンバー (通知カード)	0 0	0 0	5 1,500	4 2,000	2 1,000
計	2,593 775,100	1,567 431,800	3,840 1,152,950	2,443 669,300	2,907 927,750

区分	北浜支所	城田支所	四郷支所	沼木支所	合計
戸籍	743件 425,100円	841件 455,800円	427件 239,900円	245件 136,550円	5,745件 3,247,350円
住民基本台帳 関係	1,049 209,600	1,302 257,000	651 130,200	357 71,400	8,878 1,769,000
印鑑証明	921 184,000	904 180,600	631 125,600	323 64,400	6,981 1,391,000
諸証明	28 5,600	21 4,200	25 5,000	9 1,800	212 41,800
マイナンバー (通知カード)	0 0	0 0	0 0	0 0	11 4,500
計	2,741 824,300	3,068 897,600	1,734 500,700	934 274,150	21,827 6,453,650

(注) 戸籍住民係中の3証明関係「(1) 住民票関係の交付等の状況」及び「(2) 戸籍謄抄本交付等の状況」の内数

(2) その他の業務

市役所各課の業務、自治会との連絡調整業務、資源回収ステーション業務、図書業務その他の受付業務等の多岐に渡る業務を行い、市街地周辺の住民の利便性とサービス向上を図った。

人 権 政 策 課

人権施策推進事業

1 伊勢市人権施策推進協議会

人権尊重の理念に関する市民相互の理解を深めるため、総合的かつ計画的な施策の推進を図ることを目的に関係官庁や市民団体等の代表で平成14年7月11日に設立した「伊勢市人権施策推進協議会」により、官民一体となって、様々な人権問題の解決に向けた取組を実施している。

開催日	事業名	事業内容	備考
2. 6. 5	総会	令和元年度事業報告・決算報告、 令和2年度事業計画(案)・予算(案)の承認	
7. 1 ~ 12.12	人権尊重啓発 ポスター・標語 募集事業	ポスター募集事業： 市内小中学校児童生徒から170点の応募 10月8日、10月23日ポスター審査 (市長賞9点、会長賞20点、奨励賞30点選出) 標語募集事業： 市内に在住または通勤通学する15歳以上の方 (中学生を除く)から3点の応募 委員の投票により入賞者を決定 (市長賞1点、会長賞1点選出) 作品展示 11月16日～11月25日伊勢市防災センター 11月26日～12月 1日イオンタウン伊勢ララパーク 12月 3日～12月 9日小俣総合支所 12月12日 人権講演会にて表彰	広報いせ7.15号 で公募 広報いせ2.1号 で優秀作品を掲 載
8. 18	第1回 人権セミナー	演 題「こどものつまずきから ～発達障がいっ て、なに？」 講 師 細川 浩 さん (伊勢市健康福祉部こ ども発達支援室 主査) 場 所 伊勢市役所 東館5-3・5-4会議室	参加者26名
9. 13	平和イベント (市事業の後 援)	国際平和デーイベント 新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点か ら中止	
10.23	第2回 人権セミナー	演 題「男女共同参画社会の実現にむけて～女性 の人権に視点をあてて～」 講 師 荻原 くるみ さん (三重県男女共同参 画センター所長) 場 所 伊勢市役所 東館5-3・5-4会議室	参加者25名

11. 4	第1回委員会	人権尊重啓発ポスター・標語募集事業経過報告、人権セミナー及び人権講演会、街頭啓発について 場 所 伊勢市役所 東館5-3・5-4会議室	
11.30	第3回 人権セミナー	演 題「感染症と人権」 講 師 安田 賢行 さん(公益財団法人 反差別・人権研究所みえ) 場 所 伊勢市役所 東館5-3・5-4会議室	参加者 32名
12. 4	街頭啓発	新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から中止	
12.12	人権講演会	テーマ 人権落語(子どもの人権)落語演目「子別れ」 講 師 三遊亭 遊雀 さん(落語家) 場 所 生涯学習センター いせトピア 多目的ホール	参加者160名
3. 2. 9	第4回 人権セミナー	新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から中止	
2.13	人権イベント (市と共催)	第6回 いせ人権映画祭(ISE HUMANRIGHTS MOVIE JAM) 場 所 生涯学習センター いせトピア 多目的ホール	参加者153名
3.26	第2回委員会	令和2年度事業(見込)及び決算(見込)報告 令和3年度事業計画(案)及び予算(案) 次年度役員について 場 所 伊勢市役所 東館 5-3・5-4 会議室	
随 時	啓発冊子発行	人権ハンドブック 22「女性の人権」	1,000部作成
随 時	啓発用物品	啓発用手提げ袋	1,500袋作成

人権啓発推進事業

市民一人ひとりが自らの人権意識を高め、すべての人々の人権が守られる心豊かな明るく住みよい地域社会を築いていくことを目的に、次のとおり啓発活動を推進した。

1 各種広報、啓発事業

広 報 啓 発 活 動	内 容	備 考
広報いせ人権情報掲載	人権尊重の理念の普及とその理解を深めてもらうことを目的に、様々な人権情報を掲載し、市民に人権について考える機会を提供した。	随時掲載

地域人権啓発紙の発行	市民館にて地域人権啓発紙を発行。(教育集会所、児童センターほか、課職員が編集に参加)様々な人権問題をテーマとした記事や施設の活動状況を掲載して、地域住民に人権について考える機会を提供した。	地域人権啓発紙 2紙 毎月発行
人権週間パンフレット及び啓発物品の作成	人権週間をPRし、人権の大切さを広く市民に訴えるため、啓発パンフレットを作成し、人権尊重宣言都市啓発用物品と合わせて、企業啓発、関係機関窓口、講演会等で配布した。	パンフレット 2,500枚 啓発物品(タッチペン付き4色ボールペン) 3,000個
人権啓発パンフレット及び啓発物品の作成	市民の人権意識の高揚を図るため、令和元年度啓発活動重点目標を簡潔にまとめた啓発用パンフレット及び啓発物品を作成し、行事等で配布し啓発をした。	パンフレット 3,500枚 ウエットティッシュ 1,000個 クリアファイル 800枚
人権学習リーフレットの作成	vol.31「新型コロナウイルス感染症と人権～3つの“感染症”を知り、差別や偏見をなくそう～」、vol.28「差別のない社会をつくろう」(人権三法)をテーマにしたリーフレットを作成した。	vol.31 初版 1,500部 再版 10,000部 再々版5,000部 vol.28 再版 1,500部
差別をなくす強調月間での展示及び懸垂幕、のぼりの掲出	本庁及び各総合支所にて人権パネル展を開催。本庁・小俣総合支所において懸垂幕を掲出。市役所本庁舎、各総合支所にのぼり旗の掲出。	
企業啓発	差別をなくす強調月間にあわせ、市内企業を訪問し、啓発活動を実施 【実施企業】 シンフォニアテクノロジー株式会社伊勢製作所、シンフォニア商事株式会社、シンフォニアエンジニアリング株式会社、株式会社赤福、株式会社マスヤ、横浜ゴム株式会社三重工場、広瀬精工株式会社、株式会社ゴーリキ、小橋電機株式会社、株式会社コーヨーファースト、株式会社ぎゅーとら、御木本製薬株式会社、有限会社ウェルフェア三重、有限会社くるべ、株式会社コムデック、有限会社南勢建築設計	16社訪問 啓発物品、パンフレット配布数 540個

2 人権相談

市民を対象とした、様々な人権問題についての相談を随時受け付け、相談者自らが主体的に解決できるよう情報の提供や助言を行った。

3 人権擁護委員との連携

法務大臣から委嘱を受け、市内各地域で活動している17人の人権擁護委員と連携し人権啓発、人権相談を行った。

隣保館運営事業

周辺地域を含めた地域社会全体の中で、福祉の向上や人権啓発、住民交流の拠点となる開かれたコミュニティセンターとして、生活上の各種相談や成人学習講座、福祉介護講座等の諸事業を実施するとともに、これらの活動を通じ日常生活に根ざした啓発活動を行い、住民の交流促進と福祉の向上に努めた。

1 事業費

	総事業費	補助基準額	財源内訳	
			県補助金	市費
隣保館運営事業費	24,080,243 円	22,958,845 円	17,219,000 円	6,861,243 円

2 事業内容

事業区分		朝熊市民館		大久保市民館		黒瀬市民館		計	
		件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員
相談事業	人権相談	0	0	0	0	0	0	0	0
	職業相談	0	0	1	1	0	0	1	1
	教育相談	0	0	0	0	0	0	0	0
	福祉相談	0	0	0	0	0	0	0	0
	生活相談	7	7	8	8	16	16	31	31
	健康相談	0	0	0	0	1	1	1	1
	その他相談	0	0	0	0	1	1	1	1
講座	福祉介護講座	1	15	-	-	3	68	4	83
	成人学習講座	0	0	-	-	3	97	3	97

3 成人学習講座詳細

項目 館・回	開催日	場 所	テーマ	講 師	参加 人数
黒瀬市民館	第1回	黒瀬市民館	こどものつまずきから ～発達障がいって、なに？	伊勢市健康福祉部 こども発達支援室 主査 細川 浩さん	人 29
	第2回	通町公民館	黄さんのこと～日韓問題 について、市民の立場から 考える～	元小学校校長 野村 和也さん	33
	第3回	田尻町民会館	犯罪から身を守るために	危機管理課防犯アドバイザー 猿木 昭吾さん 伊勢警察署生活安全係長 政光 孝さん 伊勢度会地区生活安全協会事務局長 御村 歳廣さん	35

4 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
神地 港内	(注1) 竹ヶ鼻地区 集会所解体工事	解体工事 一式	円 5,099,600	2. 7.31	2. 9.11
"	(注2) 竹ヶ鼻地区集会所跡地舗装工事	舗装工 217.0 m ²	1,265,000	2. 9.10	2.10.29
黒瀬 町内	(注1) 黒瀬地区集会所 解体工事	解体工事 一式	5,643,000	2.11. 6	2.12.18
"	(注3) 旧黒瀬地区集会所跡地舗装工事	舗装工 196.0 m ² フェンス工 30.5m	1,816,100	2.12.25	3. 3.15
"	(注4) 黒瀬地区集会所 放送設備移設工事	放送設備移設 一式	858,000	3. 1.15	3. 3.15
計	5件	-	14,681,700	-	-

(注1) 営繕課施行

(注2) 交通政策課施行

(注3) 上水道課施行

(注4) 維持課施行

○ 非核平和推進事業

1 非核・平和第42回空襲展の開催(中止)

市民の空襲の記録を収集し、展示することによって、核兵器の廃絶及び軍備縮小並びに平和を広く訴えるため、空襲展実行委員会に参画し、8月15・16日に開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となった。

2 原爆被災ポスター展

原爆被災の実相を伝え、戦争や核兵器のない未来をつくることをめざして、広く市民に平和の尊さを訴える原爆被災ポスター展を7月20日から7月31日まで本庁と二見総合支所で、8月3日から8月14日まで御園総合支所と小俣総合支所で開催した。

3 非核平和都市宣言折り鶴

市内各市立中学校の生徒代表による広島平和記念式典への参加にあたって、各校生徒が平和への祈りを込めて作る千羽鶴用に、伊勢市非核平和都市宣言文を印刷した折り紙用紙を提供した。

(10校×1,100枚)

4 日本非核宣言自治体協議会

日本非核宣言自治体協議会では、核廃絶を求める内容の決議を行った自治体が連携し、平和関連事業を実施、また、核実験を行った国に向けて抗議文書を送るなど、核兵器廃絶と恒久平和の

実現に向けて様々な事業を行っている。当市においても、協議会の趣旨に賛同し、協議会に加盟、非核・平和推進に向け、活動に協力している。

(非核宣言自治体総数 1,653 自治体、内、協議会会員自治体数 342 自治体：令和 3 年 4 月 1 日現在)

5 平和首長会議

平和首長会議は、世界の都市が緊密な連携を築くことによって、核兵器廃絶の市民意識を国際的な規模で喚起、核兵器廃絶を実現にむけ活動するほか、人類の共存を脅かす諸問題の解決、環境保護等、世界恒久平和の実現に寄与することを目的とし、この趣旨に賛同する都市(自治体)で構成された機構であり、当市も趣旨に賛同し加盟し平和行政を進めている。

(平和首長会議加盟総数 世界 165 か国・地域 8,027 都市(内、日本国内 1,734 都市)：令和 3 年 5 月 1 日現在)

6 「国際平和デー」の周知

・国際平和デー「鐘の音とともに祈りを」

国連が定めた『国際平和デー』に合わせて、9 月 21 日正午から、「鐘の音とともに祈りを」と題して市内の寺院や教会等の協力を得て鐘を鳴らし、平和を感謝し、恒久平和を祈念する取組を実施した。(寺院や教会等 103 か所に参加依頼)

○ 人権学習事業

市民が人権尊重の精神をもとに人権問題を正しく認識し、自らの課題として解決できるよう啓発活動の積極的な推進に努めた。

1 小学校区別人権・同和教育推進連絡協議会事業

市内各小学校区において、自治会長(区長)、民生委員、人権擁護委員、学校長などが委員となり人権啓発活動を行っている 22 の人権・同和教育推進連絡協議会へ、委託金を支払い、活動の支援を行なった。

2 第 15 回伊勢市人権を考える市民の集い(中止)

新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から中止とした。

3 令和 2 年度伊勢市人権講演会

人権に対する正しい理解と認識を広めるため、令和 2 年 12 月 12 日、三遊亭遊雀さん(落語家)を講師に招き、子どもの人権をテーマにした人権落語、落語演目「子別れ」をいせトピアにてご披露いただいた。

あわせて人権尊重啓発ポスター・標語の市長賞表彰式、及び、例年市民の集いで行っている市内小中学生代表による人権作文発表を行った。(参加者 160 人)

4 第 6 回 ISE HUMANRIGHTS MOVIE JAM(いせ人権映画祭)

人権をテーマとした自主制作映像作品を全国の幅広い年齢層から募集し上映することにより映像制作・鑑賞を通して人権に対する意識の啓発と人権感覚の向上をはかることを目的に映画祭を開催。コメンテーターに映画監督の瀬木直貴さんを招き、10 作品をいせトピアにて上映した。

(上映会参加者 153 人)

上映作品は下記のとおり。

作 品 名	団 体 名	
君の心が聴けるウサギの耳がほしい。	市川 良也	四日市市
カサカサ、ベタベタ	シネマウント・フィルム・パーティー	千葉県
いっしょにやろうよ	長尾 正男	伊勢市
ひとりぼっちのあいつ	エトセトラムービー	東京都
ずっと大好きだよ ~おじいちゃんが遺してくれたもの~	西本 幸夫	伊勢市
おねえちゃん	桜丘高等学校放送部	伊賀市
パイパイアス	映像 C U B E	松阪市
クローバー	三重県立伊勢高等学校放送部	伊勢市
きこえる	三重県立明野高等学校放送部	伊勢市
割れたレンズ	三重県立松阪高等学校放送部	松阪市

5 人権啓発講座

市内の小中学校の保護者及び一般を対象とし、人権に対する知識理解や人権感覚を身に付けた人材を育成することにより、その受講者が家庭はもとより各小中学校や各地域の人権推進の担い手となり、住みよい社会を築くことを目的として4回の講座を開催した。(延べ参加者88人) 各回の内容は下記のとおり。

	開催日	場 所	テ ー マ	講 師	参加人数
第1回	R2. 8.23	御園公民館	子どもの人権	びわこ成蹊大学客員教授 園田 雅春さん	人 23
第2回	R2.11.29	御園公民館	部落と人権	公益財団法人反差別・人権研究所みえ 原田 朋記さん	25
第3回	R3. 1.17	御園公民館	インターネットの人権	公益財団法人反差別・人権研究所みえ 中村 尚生さん	17
第4回	R3. 2.28	御園公民館	障がい者の人権	公益財団法人反差別・人権研究所みえ 安田 賢行さん	23

環 境 課

環境全般

1 伊勢市環境審議会の開催

第2期伊勢市環境基本計画（計画期間：平成27年度～平成31年度）の計画期間が終了し、新たに第3期伊勢市環境基本計画（計画期間：令和2年度～令和11年度）を策定したことから、伊勢市環境審議会において第2期計画の総括と第3期計画の進捗管理を審議した。

【環境審議会】

伊勢市環境基本条例第11条の規定に基づき設置

構 成：公共的団体等に所属する者でその団体の推薦を得た者9人
学識経験を有する者3人
その他市長が必要と認める者7人

会 長：中松 豊 氏（皇學館大学教育学部長・教授）

副会長：山村 直紀 氏（三重大学大学院工学研究科准教授）

【開催実績】

回数	開催日	議事等
第1回	2. 9. 2	第2期伊勢市環境基本計画の総括 第3期伊勢市環境基本計画に基づく施策の取組状況について

2 環境管理システムの推進

平成20年度からISO14001の規格によらない環境管理システムを運用している。

市役所本庁舎及び各総合支所にて取り組む事務活動について、事務用紙使用量、可燃ごみ排出量、電力使用量、公用車燃料使用量（ガソリン・軽油）の4項目の実績把握を行うとともに、クールビズ等の取組及び意識啓発等を行っている。

3 環境啓発・環境教育の推進

（1）環境フェア

市民の皆様へ、体験などを通して、環境の状況や取組等を知っていただき、環境意識の向上や市の環境施策への理解と協力を得ることを目的とし、令和2年10月11日に三重県営サンアリーナにおいて「伊勢市環境フェア」を開催する予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。

（2）伊勢市環境会議

伊勢市環境会議は、伊勢市の環境保全・環境意識の向上を目的に、市民や企業の代表者、行政等により平成25年4月に発足した。毎月の例会において会員が知恵を出し合い、協力して啓発事業等を行っている。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、感染防止対策が取れる事業のみの実施となった。

実施日	事業名	概要	備考
2. 8.18	水生生物による水質調査	河川に親しむきっかけをつくり、水質浄化意識の啓発を目的に小学校児童向けに水生生物の生息状況による水質調査を横輪川にて実施した。	参加者 小学 5 年生 4 人
2. 9. 2 ~ 9.30	環境会議の活動写真展示	環境会議の取組みを紹介するため、百五銀行伊勢支店のロビーに活動写真等を展示した。	
2. 9. 2 2. 9. 8 2.10. 7 2.10. 8 2.10. 9 2.10.30 2.12.17	環境出前講座 (園児対象)	未就学児に、楽しみながら環境について興味を持ってもらえるよう、会員が紙芝居等を実施した。	参加者 保育所あけぼの園 28 人 御園第一保育園 37 人 浜郷保育所 28 人 有緝こども園 33 人 五峰保育園 16 人 えがお保育園 15 人 有滝保育園 5 人
2.11. 5	鳥羽市答志島奈佐の浜の海岸清掃	南勢志摩地域海岸漂着物対策連絡会議主催の海岸清掃に参加した。	環境会議からの参加者 2 人
2. 9.17	MOTTAINAI(もったいない)ポスターコンクール	家庭でごみ問題について話し合うきっかけづくりとして、市内小中学校へ「3Rの推進」「食品ロス」をテーマに作品募集し、審査を行った。	応募作品 198 点 (入賞者 51 人)
2.12.22 ~ 12.28	MOTTAINAI(もったいない)ポスターコンクール入賞作品展示	表彰式が中止となったため、イオンタウン伊勢ラパークで入賞作品の展示を行った。	

(3) 皇學館大学との連携事業

皇學館大学と市は、文化・教育・学術等の分野で相互に機能向上を図るとともに、地域の活性化と人材の育成を図ることを目的に、平成 20 年 7 月 11 日に連携協定を締結している。

環境分野における連携として、昆虫を活用した環境に関する出前講座を実施しており、市内の高等学校 2 校において出前講座を実施した。

(4) 事業者における環境教育

事業者においては、事業者自らの企画による環境教育等が社会貢献活動として実践されており、各事業者が有する人材・学習教材となりうる資材の提供等の協力をいただくことで学習環境の充実を図るため、環境教育に関する協定書を締結している。

協定に基づき、市内の小学校向けに環境出前講座等を実施しているが、令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。

【協定年月日及び協定先】

- 平成 23 年 9 月 30 日 中部電力株式会社（現：中部電力パワーグリッド株式会社）
- 平成 27 年 1 月 26 日 株式会社第三銀行（現：株式会社三十三銀行）
- 平成 28 年 1 月 22 日 横浜ゴム株式会社三重工場

地球温暖化防止対策の推進

1 太陽光発電普及促進事業

地球温暖化防止対策として太陽光発電システムの設置を促進するため、平成 31 年度に補助事業を実施したが、年度内に事業完了しなかった 24 件について繰越対応とした。

	補助額	交付件数	交付額合計
令和 2 年度への繰越分	60,000 円/件	24 件	1,440,000 円

2 エコドライブの推進

地球温暖化防止対策として、自動車から排出される二酸化炭素を減らすことが課題であり、クリーンエネルギー自動車の普及とともに、自動車の使用方法の対策が重要であることから、燃費向上や安全運転の効果が期待できるエコドライブの普及を図っている。

ケーブルテレビ行政放送により、エコドライブの特集番組「地球環境にやさしい運転～エコドライブのすすめ～」を令和 3 年 1 月に放送し、市民啓発した。

なお、JAF と連携して開催を予定していたエコドライブ講習会は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。

3 地球温暖化防止の啓発

市民の皆様へ地球温暖化への意識を高めてもらい、一人ひとりの行動変容につなげるため、環境省が貸出する「COOL CHOICE イベント用展示ツール」を活用した展示イベントを行った。

日時：令和 2 年 12 月 19 日（土）・20 日（日） 午前 10 時～午後 5 時

場所：イオンタウン伊勢ララパーク・2 階イベントスペース

内容：環境省 COOL CHOICE イベント用展示ツールの展示、伊勢市環境啓発パネル等の展示、電気自動車の P R

来場者：約 400 人

4 電気自動車等の P R

(1) イベントにおける電気自動車の普及啓発

自動車メーカー等と連携を図り、市民に対し電気自動車の普及啓発を行った。

実施日	事業名	概要	備考
2.12.19 20	地球温暖化防止啓発イベント	電気自動車の P R	来場者 約 400 人

(2) 電気バスを活用した環境教育

三重交通株式会社が平成 26 年 3 月に導入した電気バス（株式会社ポケモンの協力を得て、車両内外にポケモンのキャラクターのラッピングを施し「ポケモン電気バス」として運行）を活用して環境教育を実施しているが、令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症の影響によ

り中止とした。

5 ノーマイカーデー（エコ通勤）の実施

職員の通勤における温室効果ガス排出の削減と率先垂範を目的として、ノーマイカーデーの取組を実施した。

【取組内容】

- ・勤務場所、職種等に関わらず、全職員対象
- ・毎月第3月曜日が属する週を「ノーマイカーウィーク」と位置づけ、期間中のエコ通勤の呼び掛け
- ・車やバイクを使わず、公共交通機関や自転車、徒歩、車の相乗りでの通勤の推奨

生活排水対策の推進

生活排水処理施設の整備、生活排水対策にかかる啓発について計画的、総合的に推進することを目的に平成28年3月に「第2期伊勢市生活排水対策推進計画」を策定、令和3年3月に計画の見直しを行い、合併処理浄化槽の設置促進及び共同污水处理施設の適正管理を推進している。

1 浄化槽設置整備事業補助金

合併処理浄化槽の設置を促進するため設置者に対し補助を行った。

(1) 予定処理区域外

【新築補助の内訳】

人槽	設置費用		
	補助金限度額	交付基数	交付額計
5	千円/件 168	基 80	千円 13,440
7	207	23	4,761
10-50	276	1	276
合計	-	104	18,477

【単独処理浄化槽からの転換】

人槽	設置費用			配管費用			撤去費用		
	補助金限度額	交付基数	交付額計	補助金限度額	交付件数	交付額計	補助金限度額	交付件数	交付額計
5	千円 332	基 5	千円 1,660	千円 60	件 9	千円 540	千円 90	件 8	千円 720
7	414	3	1,242						
10-50	548	1	548						
合計	-	9	3,450	-	9	540	-	8	720

【くみ取りからの転換】

人槽	設置費用			配管費用		
	補助金限度額	交付基数	交付額計	補助金限度額	交付件数	交付額計
5	千円 332	基 12	千円 3,984	千円 60	件 17	千円 1,020
7	414	5	2,070			
10-50	548	0	0			
合計	-	17	6,054	-	17	1,020

(2) 予定処理区域内

【新築及び単独処理浄化槽・くみ取りからの転換】

人槽	設置費用		
	補助金限度額	交付基数	交付額計
5	千円/件 110	件 32	千円 3,520
7	138	7	966
10	182	1	182
合計	-	40	4,668

予定処理区域内においては、配管、単独浄化槽の撤去費用及び11人槽以上の浄化槽は補助対象外

2 共同汚水処理施設修繕工事補助金

住民が組織する団体が管理する共同汚水処理施設の適正な維持管理を促進するため、設置後7年以上が経過した共同汚水処理施設の修繕工事(当該修繕工事に要する経費が1件当たり30万円以上)を実施した管理団体に対し補助を行った。令和2年12月に災害時における補助要件について伊勢市共同汚水処理施設修繕工事補助金交付要綱の見直しを行った。

団地名(人槽)	事業費	補助金額	事業概要
大倉うぐいす台団地 (1,400人槽)	489,500	163,000	酸化ブローワー修理 フロートスイッチ修理
イトーピアふじが丘団地 (2,800人槽)	491,700	163,000	ばっ気ブローワー修繕 機械室有圧換気扇取替 脱臭塔修繕
計	981,200	326,000	-

公害対策事業

1 大気汚染調査

市内の大気汚染の状態を把握するため、三重県環境生活部が厚生中学校に大気汚染常時監視測定局を設置(昭和63年3月測定開始)し、二酸化硫黄、PM2.5、浮遊粒子状物質、オキシダント、窒素酸化物、炭化水素等について測定調査した。結果については、三重県ホームページに掲載されている。

(1) 光化学スモッグ発生状況

発令内容	回数	発生年月日
予報	なし	-
注意報	なし	-

2 水質調査

河川や幹線排水路及び海域の水質汚濁状態を把握するため、水質調査を行った。

(1) 水質調査実施状況

区分	調査対象	地点数	項目数	回数
河川	8	15	12	4~24
幹線排水路	5	7	12	4~5
海域	1	1	8	3

(2) 主な河川等のBOD調査結果

区分	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	環境基準
姫之橋(勢田川)	mg/ 2.7	mg/ 3.9	mg/ 4.4	mg/ 5.2	mg/ 1.6	5 mg/ 以下
北新橋(勢田川)	5.0	4.5	4.9	5.7	4.2	5 mg/ 以下
勢田大橋(勢田川)	3.9	5.0	5.5	6.1	3.5	5 mg/ 以下
桧尻川合流点(勢田川)	3.7	4.9	4.7	5.7	5.6	5 mg/ 以下
一色大橋(勢田川)	2.9	2.9	4.8	4.8	1.7	5 mg/ 以下
中部幹線(勢田川)	6.9	5.6	13.0	6.1	6.2	-
南部幹線(勢田川)	2.1	3.4	3.9	3.9	1.4	-
有滝橋(江川)	1.5	1.2	2.4	3.0	1.0	-
大堀川橋(大堀川)	2.5	1.2	3.6	3.2	1.1	-
野垣外橋(汁谷川)	1.0	1.3	3.1	3.1	0.9	-
鮫川	1.7	0.8	4.2	3.8	1.2	-

数値は75%値

(3) 海域のCOD調査結果

区分	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	環境基準
宇治山田港	mg/ 1.2	mg/ 0.5未満	mg/ 0.5未満	mg/ 0.5未満	mg/ 0.5未満	3 mg/ 以下

数値は75%値

3 騒音・振動調査

市内の騒音及び振動の状態を把握するため、環境騒音・道路交通振動について測定した。

(1) 環境騒音・道路交通振動調査

区分	地点数	基準適合地点
一般環境騒音	4	4/4
道路交通騒音	4	4/4
道路交通振動	1	1/1

(2) 一般環境騒音調査結果

測定地点	用途地域	地域類型	基準値		測定値
				dB	dB
楠部町	第一種低層住居専用地域	A	昼間	55	52
			夜間	45	42.5
宇治浦田1丁目23	第二種中高層住居専用地域	A	昼間	55	48.5
			夜間	45	39.5
桜木町	第二種住居地域	B	昼間	55	46.5
			夜間	45	37
楠部町	第二種中高層住居専用地域	A	昼間	55	44.5
			夜間	45	36.5

(3) 道路交通騒音調査結果

市内の主要幹線道路における環境基準達成状況を把握するため、騒音規制法第18条第1項の規定に基づき、自動車騒音の常時監視を行った。この調査は、道路環境の各種施策へ反映を図る資料として、環境省環境管理状況局自動車騒音環境対策課が配布する「面的評価支援

システム」を用いて、評価対象路線における環境基準の達成状況を調査するもの。

路線名	測定地点	用途地域	地域類型	基準値		測定値
				昼間	夜間	dB
一般国道 23 号	楠部町	第一種低層住居専用地域	A	昼間	70	69
				夜間	65	61
一般国道 23 号	宇治浦田 1 丁目 23	第二種中高層住居専用地域	A	昼間	70	63
				夜間	65	52
伊勢磯部線	桜木町	第二種住居地域	B	昼間	70	66
				夜間	65	56
鳥羽松阪線	楠部町	第二種中高層住居専用地域	A	昼間	70	58
				夜間	65	46

4 悪臭調査

公害防止とともに生活環境の保全を図るため、市内の特定地点（1件）において臭気調査を行った。

5 公害苦情等処理状況

市民から電話、窓口等により寄せられる身の回りに関する苦情について対応した。

区分		29 年度	30 年度	元年度	2 年度
典型 7 公害	大気汚染	54 件	41 件	47 件	63 件
	水質汚濁	0	3	2	4
	土壌汚染	0	0	0	0
	騒音	2	1	3	18
	振動	0	0	1	0
	地盤沈下	0	0	0	0
	悪臭	2	5	10	26
小計		58	50	63	111
その他	草刈り・樹木剪定	129	115	117	143
	害虫	26	14	2	9
	動物(犬猫等)	17	49	40	43
	その他	65	112	135	202
小計		237	290	294	397
合計		295	340	357	508

6 公害関係法令に基づく各種届出受理業務

公害関係法令に基づき、事業活動を行う工場及び事業場、また、特定建設作業に対する各種届出の受理業務を行った。

(1) 特定施設に関する設置等の届出

区分	元年度			2 年度		
	設置届	廃止届	その他	設置届	廃止届	その他
大気汚染防止法	3 件	2 件	8 件	0 件	2 件	4 件
水質汚濁防止法	12	3	12	7	2	10
騒音規制法	1	0	9	0	1	2
振動規制法	1	0	6	0	0	1

三重県生活環境の保全に関する条例関係	ばい煙	件	件	件	件	件	件
		0	0	2	1	1	1
	粉じん	0	0	0	0	1	0
	騒音	3	0	6	2	0	4
	振動	0	0	1	1	0	0
	揚水設備	0	0	0	0	0	0
ダイオキシン類対策特別措置法		0	0	0	0	0	0
特定工場における公害防止組織の整備に関する法律		0	0	0	0	0	8
計		20	5	44	11	7	30

(2) 特定建設作業に関する届出

区分	30年度		元年度		2年度	
	法律	条例	法律	条例	法律	条例
騒音	件 34	件 2	件 27	件 11	件 26	件 3
振動	15	1	23	2	13	1
計	49	3	50	13	39	4

(3) 伊勢市土地開発事業指導要綱第6条に基づく計画申し出にかかる協議・意見

区分	30年度	元年度	2年度
開発許可申請書に係る協議経過書	件 27	件 25	件 18
大規模小売店舗立地法に基づく届出に係る意見	1	0	1
計	28	25	19

墓地関係

1 市営墓地管理

市営大世古墓地、大湊墓地及び小俣若山墓地を効率的に管理するため、業務委託等を行い墓地の環境整備を行った。

(1) 管理区画数

区分	3.3㎡以下	3.3㎡超 6.6㎡以下	6.6㎡超 9.9㎡以下	9.9㎡超	計
大世古墓地	区画 951	区画 490	区画 90	区画 102	区画 1,633
大湊墓地	806	82	7	2	897
小俣若山墓地	1,215	0	0	0	1,215
計	2,972	572	97	104	3,745

令和3年3月末時点

(2) 使用状況

墓地名	新規使用	返還	残数
大世古墓地	区画 6	区画 13	区画 143
大湊墓地	0	6	52

小俣若山墓地	区画 16	区画 8	区画 11
小俣若山納骨堂	18	2	308
計	40	29	514

令和3年3月末時点

(3) 業務委託

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
大世古墓地	市営大世古墓地管理等業務委託	埋蔵の立会い、草刈等	円 1,379,388	2. 4. 1	3. 3.31
大湊墓地	市営大湊墓地管理業務委託	埋蔵の立会い、草刈等	486,000	2. 4. 1	3. 3.31
小俣若山墓地及び納骨堂	市営小俣若山墓地管理業務委託	埋蔵の立会い、草刈等	449,087	2. 4. 1	3. 3.31
伊勢市役所環境課	伊勢市墓地管理システム運用保守業務委託	墓地管理システムの運用保守	475,200	2. 4. 1	3. 3.31
大世古墓地	市営大世古墓地サクラ樹剪定業務委託	墓地内のサクラ樹の剪定	272,800	2.10.29	2.11.12
大世古墓地及び小俣若山墓地	無縁墓石等撤去集積及び改葬業務委託	無縁墓石等の撤去集積、撤去区画の埋蔵物を調査のうえ収蔵	198,000	3. 3.12	3. 3.23
計	-	-	3,260,475	-	-

(4) 賃借業務

賃借名	賃借期間	賃借料
墓地駐車場賃借料(小俣若山墓地)	2. 4. 1~ 3. 3.31	240,000

(5) 工事

施行場所	工事名	工事概要	金額	着手	完了
大世古墓地	大世古墓地フェンス設置工事	墓地内フェンスの設置	円 860,200	2. 6.22	2. 8.20
大湊墓地	市営大湊墓地内ブロック塀修繕	ブロック塀の撤去	99,000	2.10.23	2.11.10
大湊墓地	市営大湊墓地内アスファルト舗装修繕	アスファルトの舗装	99,000	3. 1. 5	3. 1.12
大世古墓地	市営大世古墓地水栓取替工事	水栓の取替工事	30,800	3. 1.14	3. 2. 9
計	-	-	1,089,000	-	-

(6) 墓地管理手数料収納件数及び割合

区分		収納件数	割合
口座振替		件 1,387	% 40.4
窓口納付	コンビニ等	1,063	30.9
	金融機関・市窓口	987	28.7
	計	2,050	59.6
合計		3,437	100

2 共同墓地整備事業補助金

自治会等が管理する共同墓地の環境改善を図るため、自治会等が行った墓地整備事業に対し補助を行った。

区分	事業費	補助金額	備考
	円	円	
塚山墓地	615,230	205,000	給排水整備
塚山墓地	88,000	29,000	道具保管庫整備
中村町共有墓地	696,025	232,000	焼香場整備
磯墓地	308,000	102,000	樹木伐採
天神・小町塚墓地	977,900	325,000	通路整備、フェンス等整備
黒瀬町中崎共同墓地	115,808	38,000	階段整備
鹿海町墓地	1,331,000	443,000	焼香場整備
西之坂墓地	484,000	161,000	樹木伐採
久志本墓地	715,000	238,000	通路整備
一誉坊墓地	1,367,520	455,000	通路整備、階段整備、手すり整備
勢田川霊園	430,100	143,000	フェンス等整備、駐車場整備
朝熊墓地	541,200	180,000	給排水整備
計	7,669,783	2,551,000	-

衛生・美化関係

1 防疫

生活環境の保全を目的に、ハチ防護服の貸出を行った。また、公共施設等において動力2兼機による煙霧消毒を実施した。

区分	29年度	30年度	元年度	2年度
煙霧消毒	9件	7件	4件	1件
ハチ防護服貸出	46	41	33	36
台風等による消毒剤配布	960	0	21	0

2 公衆浴場に対する支援

市内にある公衆浴場の確保を図るため、伊勢公衆浴場組合を通じて、市内の公衆浴場5か所に集客用の物品支援を行った。

実施日	物品名	数量	金額
2. 7.30	トイレットペーパー	個 1,008	円 75,614
2. 8.24	ボックスティッシュ	252	73,088
2. 9. 4	非接触型温度測定器	5	33,660
2. 9. 7	消毒液	50	52,800
2. 9.14	T字カミソリ 石けん	200 576	75,240
計	-	-	310,402

3 高麗広地区飲料水浄化施設等設置補助事業

高麗広地区においては上水道施設がないことから、良質で安全な飲料水の確保のために、自家用井戸や浄水施設等を設置した当該地区住民に対し補助を行っている。令和2年度の申請数は0件であった。

犬・猫関係

1 狂犬病予防事務

狂犬病予防法に基づき、飼い犬情報の管理を行った。

区分		29年度	30年度	元年度	2年度
登録数		頭 7,484	頭 7,563	頭 7,523	頭 7,316
新規	動物病院	271	254	239	286
	窓口等	156	163	174	125
予防注射接種数		5,090	4,608	4,696	4,683
獣医師等		4,096	3,675	4,172	4,232
集合注射		994	933	524	451

令和3年3月末時点

2 犬及び猫の不妊手術費等の助成

犬や猫の適正飼育を促進するため、不妊手術費等の一部助成を行った。

区分		助成額/件	30年度		元年度		2年度	
			件数	交付金額	件数	交付金額	件数	交付金額
犬	雄	円 3,000	件 94	円 282,000	件 91	円 273,000	件 121	円 363,000
	雌	4,000	108	432,000	106	424,000	100	400,000
猫	雄	2,500	243	607,500	230	575,000	252	630,000
	雌	3,500	273	955,500	279	976,500	342	1,197,000
計			718	2,277,000	706	2,248,500	815	2,590,000

3 飼い主のいない猫対策

猫と人が共生できる社会を目指すとともに生活環境の保全を図るため、地元自治会、伊勢保健所、三重県動物愛護推進センター（あすまいる）、公益財団法人どうぶつ基金と連携しTNR活動を実施した。

【TNR実施状況（三重県動物愛護推進センター実施分）】

区分	30年度	元年度	2年度
実施回数	7回	8回	9回
実施匹数	70匹	64匹	81匹

TNR活動...飼い主のいない猫に対して、不妊去勢手術を行い元の場所に戻すことで繁殖を抑制し苦情や殺処分数の減少に寄与する活動

水道法関係

水道法に基づく専用水道、簡易専用水道に関する届出、三重県小規模水道条例に基づく水道の

届出について、届出受理業務を行った。

区分	元年度		2年度	
	設置届	廃止届	設置届	廃止届
水道法(専用水道)に基づく届出	件 0	件 0	件 0	件 0
水道法(簡易専用水道)に基づく届出	2	0	2	0
三重県小規模水道条例に基づく届出	0	0	0	0

伊勢広域環境組合

し尿等処理、火葬業務等について、伊勢市、明和町、玉城町、度会町で構成する伊勢広域環境組合で衛生的、効率的に行った。

業務名	施設	構成市町
し尿等処理業務	クリーンセンター	伊勢市、玉城町、度会町
火葬業務	斎場	伊勢市、明和町、玉城町、度会町

(1) 分担金の推移(伊勢市分)

区分	29年度	30年度	元年度	2年度
クリーンセンター	千円 188,389	千円 177,067	千円 196,279	千円 157,652
斎場	45,975	51,833	53,938	54,241

(2) 分担金内訳(伊勢市分)

区分	クリーンセンター	斎場	計	備考
共通経費	千円 2,026	千円 539	千円 2,565	平等割 10% 加入事務数割 90%
運営経費	153,420	40,829	194,249	実績割 100%
建設経費	-10,453	12,873	2,420	平等割 10%、人口割 90%
公債費	12,659	0	12,659	元利補給金
計	157,652	54,241	211,893	-

(3) クリーンセンター処理実績

区分	29年度	30年度	元年度	2年度
総処理量 (伊勢市・玉城町・度会町分)	t 47,297	t 45,229	t 44,339	t 43,272
内 伊勢市分	39,712	37,676	37,248	36,247

(4) クリーンセンター処理状況

市内のし尿等の収集運搬について、し尿収集運搬業・浄化槽清掃業許可業者数 8 社による許可車両 35 台(本許可車両 25 台、予備車両 10 台)で対応した。

月分	処理量(伊勢市・玉城町・度会町分)			
	t	内 伊勢市分 t	し尿	浄化槽汚泥
4			3,940	3,384
5	3,229	2,673	381	2,292
6	3,736	3,064	429	2,635
7	3,700	3,034	471	2,563

8	t	t	t	t
	3,231	2,635	479	2,156
9	3,355	2,838	450	2,388
10	3,969	3,334	476	2,858
11	3,561	3,050	405	2,645
12	3,797	3,095	572	2,523
1	3,141	2,628	345	2,283
2	3,242	2,773	428	2,345
3	4,371	3,739	441	3,298
計	43,272	36,247	5,331	30,916

端数処理のため合計が合わない場合がある。

(5) 斎場利用実績

区分	29年度	30年度	元年度	2年度
総利用数 (伊勢市・明和町・玉城町・度会町・管外)	件	件	件	件
内 伊勢市分	1,583	1,536	1,479	1,550

胞衣汚物及び霊安室利用を除く。

(6) 斎場利用状況

区分	明和町・玉城町・度会町	管外	伊勢市	計
12歳以上の者	件 514	件 98	件 1,530	件 2,142
12歳未満の者	2	0	1	3
死産児	3	0	19	22
計	519	98	1,550	2,167
胞衣汚物	21件			
霊安室利用	12件			

生物多様性保全活動の推進

市内においてもブラックバスやミドリガメ、アライグマ等の外来生物が多く見られるようになり、外来種が在来種の生息に悪影響を及ぼしていることを認識し対策を進める必要がある。生物多様性保全活動の一環として動植物の生息・育成状況の把握に努めるとともに在来種の保護を行う活動、啓発活動を実施した。

実施時期	実施事業名	概要
2. 8. 18	水生生物による水質調査	河川に親しむきっかけをつくり、水質浄化意識の啓発を目的に小学校児童向けに水生生物の生息状況による水質調査を横輪川にて実施した。
2. 9. 15 2. 10. 27 2. 11. 17 2. 12. 16 3. 1. 14 3. 2. 4 3. 3. 4	いきもの調査	市内の動植物の生息状況を把握することを目的として、採集、写真撮影により種の同定を行い、活動記録をホームページに掲載した。

生物多様性...多様な生き物が多様な環境に豊かに生息している状態

ごみ減量課

ごみ減量推進関係

1 「伊勢市ごみ処理基本計画」の推進

(1) 伊勢市廃棄物減量等推進審議会の開催

ごみ処理における施策取組状況や推進状況を報告し、意見をもらった。

【廃棄物減量等推進審議会】

伊勢市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例第8条の規定に基づき設置

構成：学識経験者（2名）、市民（2名）、事業者等（2名）、地域住民組織（3名）、再生資源業者（1名）、関係行政機関（2名）

2 ごみの適正処理

(1) ごみ排出量及び処理経費

ごみの減量・資源化のための分別収集を推進した結果、過去5年間のごみ排出量及び処理経費の推移は次のとおりであった。

ア ごみ排出量の推移

年度	28年度	29年度	対前年度増減	30年度	対前年度増減	元年度	対前年度増減	2年度	対前年度増減
燃えるごみ	42,948 ^t	42,604 ^t	0.8%	41,918 ^t	1.6%	41,506 ^t	1.0%	39,709 ^t	4.3%
粗大ごみ	1,163	1,287	10.7	1,260	2.1	1,358	7.8	1,398	2.9
小計	44,111	43,891	0.5	43,178	1.6	42,864	0.7	41,107	4.1
資源物	5,992	5,746	4.1	5,913	2.9	5,844	1.2	6,145	5.2
缶・金属類	911	984	8.0	938	4.7	911	2.9	1,000	9.8
投棄場搬入量	660	593	10.2	550	7.3	576	4.7	166	71.2
合計	51,674	51,214	0.9	50,579	1.2	50,195	0.8	48,418	3.5

対前年度増減（%）＝（当該年度－前年度）／前年度×100

投棄場搬入量は側溝土砂を含む。資源物は、小型家電製品の収集量を含む。

イ ごみの各平均排出量

年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
各年度末人口 ^(人)	128,288	127,064	126,060	125,043	123,853
各年度末世帯数 ^(世帯)	54,787	54,913	55,202	55,615	55,808
総ごみ排出量 ^(t)	51,674	51,214	50,579	50,195	48,418
1日平均排出量 ^(t/日)	141.57	140.31	138.57	137.14	132.65
1日1人平均排出量 ^(g/人・日)	1,103.55	1,104.27	1,099.26	1,096.78	1,071.04
1日1世帯平均排出量 ^(g/世帯・日)	2,584.1	2,555.2	2,510.2	2,465.97	2,376.94

各年度末人口・世帯数は町別統計（住民基本台帳）を引用

ウ 処理経費の推移

年 度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
処理経費	円 1,547,994,000	円 1,660,418,046	円 1,651,052,944	円 2,078,856,563	円 2,105,407,920
ごみ1t当りの 処理経費	29,957	32,421	32,643	41,416	43,484
1人当りの 処理経費	12,067	13,068	13,097	16,625	16,999
1世帯当りの 処理経費	28,255	30,237	29,909	37,379	37,726

処理経費は、毎年度環境省が実施している一般廃棄物処理事業実態調査で報告した数値（人件費、収集運搬・最終処分等に係る処理費、車両等購入費、ごみ処理委託料、組合分担金、各種委員会経費・補助金等に係るその他の経費を合算したもの。）

平成30年度の処理経費については、清掃工場整備基金積立金額を計上していない。

(2) 資源物の資源化

市内に設置した資源ステーション、資源拠点ステーション等で資源物の分別収集を行い、伊勢広域環境組合清掃工場等の中間処理施設へ搬入し、ごみの資源化を図った。

また、廃棄物投棄場に搬入されたガレキ類についても中間処理施設へ搬入し、ごみの資源化を図った。

なお、過去3年間の委託・売却量、その他の推移は、次のとおりであった。

ア 資源びんの委託量等の推移

年 度	種別	無 色	茶 色	その他の色	計
30年度	委託量	kg 416,150	kg 310,230	kg 168,450	kg 894,830
	委託料	円 83,230	円 243,220	円 156,153	円 482,603
元年度	委託量	388,420	283,460	158,690	830,570
	委託料	72,812	296,527	220,804	590,143
2年度	委託量	382,330	269,590	157,350	809,270
	委託料	90,421	279,942	237,126	607,489

イ その他資源物の委託量等の推移

年 度	種別	プラスチック 製容器包装	ガラス・ くずびん類	陶磁器類	乾電池	蛍光管	ガレキ類
30 年 度	委託量	kg 885,720	kg 189,910	kg 312,990	t 47	t 29	t 68.43
	委託料	円 434,002	円 3,691,850	円 8,788,759	円 4,720,680	円 2,648,430	円 211,516
元 年 度	委託量	897,620	204,750	306,930	45	21	285.91
	委託料	449,989	4,462,472	11,708,676	4,587,262	2,098,296	1,200,548
2 年 度	委託量	944,360	205,070	336,430	44	25	103.58
	委託料	509,010	5,188,271	12,952,555	4,380,750	2,471,040	350,152

ガラス・くずびん類とはガラス製の食器・板ガラス・割れた資源びんなどのこと。乾電池・蛍光管は、伊勢広域環境組合から提供を受けた委託量が概数であるため委託料は参考値。

ウ 紙類・布類の売却量等の推移

年度	種別	新聞・折込 チラシ	雑誌・雑紙類	段ボール	飲料用紙 パック		布・衣類	計
					200m 以 外	200 m		
30 年度	売却量	kg 530,170	kg 973,500	kg 674,410	kg 20,550	kg 0	kg 158,180	kg 2,356,810
	売却額	円 3,911,359	円 4,772,060	円 3,455,511	円 126,011	円 0	円 162,595	円 12,427,536
元 年度	売却量	569,410	879,390	679,200	20,910	0	187,480	2,336,390
	売却額	3,861,697	5,050,304	3,558,481	125,763	0	183,660	12,779,905
2 年度	売却量	731,950	903,980	618,050	23,600	0	239,920	2,517,500
	売却額	2,536,300	2,026,900	2,561,152	60,000	0	98,248	7,282,600

エ ペットボトルの売却量等の推移

年度	30年度	元年度	2年度	
			4月～9月	10月～3月
売却量 (kg)	296,250	298,410	160,290	-
売却額 (円)	861,505	218,421	126,604	-
委託量 (kg)	-	-	-	143,500
委託料 (円)	-	-	-	2,495,288

オ 資源化率の推移

年度	30年度	元年度	2年度
資源化率	15.67%	15.74%	15.76%

$$\text{資源化率}(\%) = (\text{再生資源回収団体の資源回収量} + \text{市の資源回収量}) / (\text{再生資源回収団体の資源回収量} + \text{ごみ総排出量}) \times 100$$

(3) 調査事業

市民が排出する燃えるごみの調査を行い、資源物の混入など分別状況を把握した。

ア 実施日 令和2年11月19日及び20日

イ 分別状況

品目	割合	品目	割合
生ごみ	% 44.0	段ボール	% 2.6
その他の燃えるごみ	29.4	布・衣類	4.8
雑誌・雑紙類	8.0	プラスチック製容器包装	4.1
新聞・折込チラシ	1.6	ペットボトル	0.7
飲料用紙パック	2.1	不燃ごみ	1.4
禁忌品	1.3		

3 3Rの推進

(1) 食品ロス削減に関する取組

ア 事業者との連携

市内でスーパーマーケットを展開している事業者8社及び三重県、市民団体が構成される「減らそに！いせの食品ロス協議会」において、賞味期限・消費期限の近くなった食品の廃棄を低減させる第2回「すぐ食べるならつれてって！キャンペーン」(10月1日から31日までの1か月間)を実施し、2,846通の応募があった。

また、同キャンペーンにおいて、家庭の冷蔵庫から発生する食材の廃棄を削減するための「冷蔵庫整理術」小冊子を2,000部配布し、家庭における食品ロス削減についても啓発を行った。

イ 宇治山田商業高等学校との連携

宇治山田商業高等学校の生徒が第2回「すぐ食べるならつれてって！キャンペーン」のポスターおよびチラシ裏面のデザインを手がけるなどし、産官学連携による啓発を行った。

また、市内の飲食店から排出される食品ロスを削減させるため、「小盛りメニューの提供」「食べ残した料理の持ち帰り」「3010運動の呼びかけ」等に協力いただける飲食店を「食に感謝食べきり応援店」として登録するため、新規登録店舗の協力要請を宇治山田商業高等学校の生徒とともに行き、46店舗の登録を行った。

ウ 全国おいしい食べきりネットワーク協議会への参画

全国408の自治体からなる協議会に参画しており、食品ロス削減全国大会 in 富山において啓発用ポスターやPOP等のパネル展示を行うなどして、先進的な取組・施策の情報発信および情報収集に努めた。

(2) 雑がみ類の資源化に関する取組

ケーブルテレビの行政放送において「雑がみ分別」の番組を制作し、希望する市民に「雑がみ回収袋」を配布して雑がみの分別を推進した。

また、これまで資源化できなかった紙類の資源化を推進するため、「トイレの紙さまプロジェクト」(これまで資源化できなかった紙類をトイレトーパーにリサイクルする取組。伊勢市環境会議主催)を開始し、15,120kgの回収を行った。

(3) 生ごみの水切りに関する取組

家庭から出される生ごみの水切りを促進させるため、SNSの配信および広報いせ、「伊勢市行政チャンネル」の番組放送により啓発を行った。

(4) ごみ減量化容器設置補助金事業

生ごみの自家処理を促進し、ごみの減量化を図ることを目的に、ごみ減量化容器を購入及び設置した市民・事業者に対し補助金を交付した。

ア 家庭用(過去3年間の推移)

年度	交付申請件数	補助金交付基数	補助金交付額
30年度	件 40	基 43	円 715,600
元年度	43	44	871,900
2年度	100	105	1,710,600

イ 事業所用

平成 28 年度から令和 2 年度まで交付実績なし

平成 27 年度から補助開始

(5) 再生資源回収事業奨励金

ごみの減量化を促進し、資源の再生化を図るとともに、ごみに対する市民の意識を高めることを目的に、自治会・P T A 等再生資源の回収事業を行う団体に対し、奨励金を交付した。

年度	登録 団体数	交付 団体数	回 収 量					奨 励 金 交 付 額
			紙 類	布 類	金 属 缶 類	計	びん	
30年度	団体 172	団体 151	kg 1,964,752	kg 42,100	kg 55,143	kg 2,061,995	本 756	円 6,188,080
元年度	174	147	1,770,185	43,870	49,585	1,863,640	437	5,592,070
2年度	167	133	1,232,385	39,540	44,517	1,316,442	111	3,946,920

1 kg 当たり 3 円、リターナブルびんについては 1 本当たり 3 円の奨励金を交付した。

(6) 廃食用油回収事業

地球温暖化防止と循環型社会の形成のため、ごみの減量化、資源化の推進事業として、市内全域を対象に廃食用油を回収し、再生利用を行った。

ア 廃食用油回収容器設置場所 計 79 か所

資源拠点ステーション、小・中学校、中学校給食共同調理場その他の公共施設

イ 回収状況（過去 3 年間の推移）

年 度	廃食用油回収量
30年度	27,330
元年度	29,380
2年度	24,220

(7) ペットボトルキャップの回収

ペットボトルのキャップをプラスチック製容器包装として分別回収しているが、市民がペットボトルキャップ回収・寄附活動運動に協力していただけるよう、市内の資源拠点ステーションや各総合支所生活福祉課等にペットボトルキャップ回収容器を設置した。

ア 回収状況（過去 3 年間の推移）

年 度	重 さ	個数(約)	ポリオワクチン
30年度	kg 10,146.0	個 4,362,780	人分 5,073.0
元年度	12,048.0	5,180,640	6,024.0
2年度	10,936.5	4,702,695	5,468.3

4 排出環境の整備

(1) 廃棄物集積所設置補助事業

燃えるごみの排出場所の集積化を促進し、ごみ収集の効率化を図るとともに、ごみの散乱を防止し、市民の美化意識の高揚を図ることにより、市民の良好な生活環境を確保することを目的として、燃えるごみ集積所を設置した自治会等に対し補助金を交付した。

ア 交付状況（過去3年間の推移）

年 度	交付申請件数	補助金交付基数	補助金交付額
30年度	件 23	基 59	円 5,865,748
元年度	17	53	4,979,882
2年度	14	29	5,716,006

利用世帯数に応じて補助金限度額の設定をして実施した。

(2) 廃棄物投棄場管理事業

ア 搬入状況

市民自己搬入分と公共関係搬入分として下記の搬入状況となった。

区 分	伊 勢			小 俣			計		
	車数	搬入量	手数料 収入	車数	搬入量	手数料 収入	車数	搬入量	手数料 収入
市民自己 搬入分	車 216	kg 103,371	円 220,980	車 172	kg 57,910	円 168,370	車 388	kg 161,281	円 389,350
公共関係 搬入分	28	3,446	-	1	830	-	29	4,276	-
計	244	106,817	220,980	173	58,740	168,370	417	165,557	389,350

イ 委託関係

埋立廃棄物の減量・資源化を推進し、廃棄物投棄場を適正管理するため下記の事業を行った。

施行場所	委 託 名	委 託 概 要	金 額	着 手	完 了
伊 勢 市 地 内	ガレキ類再資源化業 務委託	引取量 ガレキ類 79.72 t 瓦類 23.73 t レンガ 0.13 t	円 350,152 【単価契約】 ガレキ類 1,000 円/ t (税抜) 瓦類 10,000 円/ t (税抜) レンガ 10,000 円/ t (税抜)	2. 5. 8	3. 3. 31
朝 熊 町 及 び 小 俣 町 地 内	伊勢市廃棄物投棄場 地下水等水質調査	6 か所	748,000	2.10. 7	3. 1. 27
計	2 件	-	1,098,152	-	-

合計は、各行の最上段を合算

ウ 工事関係

神宮周辺の交通渋滞対策において、既存の伊勢廃棄物投棄場用地をパークアンドバスライドの駐車場として利用していくため、投棄場施設を解体し、機能に移設するための工事を行った。また、小俣廃棄物投棄場の下流地点の地下水調査を追加で行うことから、観測井戸の掘削工事を行った。

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 工	完 工
朝 熊 町 地 内	(注) 伊勢市廃棄物投棄場解体移 設工事	解体移設工事 一式	円 8,844,880 【契約額】 17,986,100 《ごみ減量課》 [令和元年度] 0 [令和2年度] 8,844,880 《交通政策課》 [令和元年度] 0 [令和2年度] 9,141,220	元.12.27	2. 6.30
小 俣 町 地 内	令和2年度小俣廃棄物投棄 場観測井戸 No3 掘削工事	投棄場下流地点の さく井工事 一式	1,295,800	2. 9. 2	2.10. 2
計	2 件	-	10,140,680	-	-

(注) 令和元年度から繰越。交通政策課より執行委任。営繕課施行。

5 啓発・教育の推進

(1) 啓発事業

ア 広報いせ及びケーブルテレビ「伊勢市行政チャンネル」による啓発

「MOTTAINAI～3R+リスペクト～」をタイトルとした MOTTAINAI 推進事業の啓発(生ごみの水切り、雑がみのさらなる分別、食品ロスの削減など)を中心に、ごみの分け方・出し方の周知や、その時期に応じた内容の記事を、毎月15日号に連載し、ごみの減量・分別の啓発に努めた。

また、ケーブルテレビ「伊勢市行政チャンネル」においても同様の啓発に努めた。

イ キャラクターを使った啓発

子どもへのごみ減量・分別意識を高めるため、子ども向け環境学習や啓発活動に皇學館大学の学生と協働で作成した「ごみ分別PRキャラクター(かもしかのごみバスターズ)」を使用し、幼稚園・保育園への環境出前講座や食品ロス削減キャンペーンなどで集客や注目度の向上を図った。

ウ LINE アプリを利用したごみ分別チャットボットの導入

伊勢市公式LINEアカウントに、ごみの品名を入力すると分別方法を自動で回答するAIチャットボット機能を実装した。また、「ごみの収集日」「粗大ごみの出し方」や、「清掃工場について」「動物の死がいの処理」など、問い合わせが多い項目についても自動で回答するメニューを盛り込んでおり、6,223人が登録、利用している(令和3年3月末時点)。

エ Facebook および Instagram アカウントの開設

かもしかのごみバスターズ(ごみ減量課)のFacebookおよびInstagramのアカウントを開設し、ごみの減量に関する情報や、ごみ減量課の取組、かもしかのごみバスターズの着ぐるみが参加するイベント情報などを配信している。フォロワー数は89人(令和3年3月末時点)。

オ ごみ分別アプリ「伊勢市版 5374.jp」の利用促進

宇治山田商業高等学校と協働で作成したごみ分別アプリ「伊勢市版 5374.jp」を令和3年度版に更新した。また令和2年度より新たにカレンダー表示版「新 5374 アプリ」を協働で作成し、市民に公開し、利用促進に努めた。(令和2年度利用状況 月平均 800回)

(2) 廃棄物減量等推進員の配置

市と市民をつなぐパイプ役として、また地域のリ-ダ-として 56 自治会より推薦された 100 名を廃棄物減量等推進員として委嘱し、ごみ減量、リサイクルの普及・啓発、ごみの分別・出し方の指導等の役割を依頼した。

(3) ごみの分別等についての説明会の実施

希望する学校・団体を対象に伊勢市のごみの現状及びごみの分け方・出し方について、説明会を実施した。(説明会開催回数 延べ3回、参加人員 延べ96人)

(4) 伊勢市環境会議(ごみ関係)

ごみの減量化・資源化の推進を目的とした以下の事業に取り組んだ。

実施期間	実施事業名	概要	備考
7月～9月	MOTTAINAI(もったいない)ポスターコンクール～「食品ロス」をなくそう!ごみをへらそう!～	物や食べ物を捨てる前に“もったいない”と思う気持ちを持ち、ごみに出す前にもう一度考える行動ができるよう、子どもたちから広く市民にメッセージを発信してもらうため、市内小中学校へ「食品ロス削減」などをテーマに作品募集を行った。	受賞者 計 51 人 (応募作品数 198 作品) (新型コロナウイルス感染拡大予防のため、表彰式は中止となった。)
9月～3月	環境出前講座	環境に関する紙芝居、ごみの分別体験や着ぐるみとのふれあいなどを環境出前講座として、市内の保育園・幼稚園で実施した。	実績 9 回 (新型コロナウイルス感染拡大予防のため、8月まで中止となった。)

6 路上喫煙対策

令和2年8月1日から開始となった「路上喫煙禁止区域」について、案内用の看板等を設置するとともに、市民や関係自治会及び関係団体などに対し、幅広く周知を図った。

令和2年8月1日には禁止区域で街頭啓発を実施した。現在は、禁止区域のパトロールを定期的に行っている。また、伊勢市路上喫煙対策審議会を開催し、施策取組状況や推進状況の報告を行い、意見をもらった。

<案内看板等設置>

伊勢市駅・宇治山田駅前周辺エリア

- ・伊勢市駅前周辺 3 箇所
- ・外宮前広場周辺 2 箇所
- ・宇治山田駅前周辺 3 箇所

内宮周辺エリア

- ・市営駐車場周辺 8 箇所
- ・おかげ横丁周辺 2 箇所
- ・内宮入口周辺 4 箇所

<路上喫煙パトロール>

路上喫煙禁止区域である、伊勢市駅・宇治山田駅前周辺エリア、内宮周辺エリアにおいて、禁止区域内での喫煙者への指導、たばこ等ポイ捨てのごみ拾い、看板等の状況確認等をするために、パトロールを実施した。

【実績】(令和2年8月～令和3年3月)

- ・指導数 6回
- ・たばこポイ捨て 禁止区域内 624本、禁止区域外 613本

<路上喫煙対策審議会>

構成：学識経験者(1名)、公共団体等の代表者(1名)、関係団体の代表者(3名)、関係行政機関の職員(1名)

7 不法投棄防止対策事業

(1) パトロール及び不法投棄監視カメラによる防止対策

不法投棄防止に対する啓発看板の作成及び配布・設置(58枚)とともに、パトロールや市内3か所に監視カメラを設置し、不法投棄の未然防止に努めた。

(2) 通報への対応

市民の通報を受け、公共用地で投棄物の調査を行い、投棄者を特定できれば警察と連携して撤去を要請し、再発の防止に努めている。投棄者が不明の場合は看板で啓発し、一定期間を経て、更なる不法投棄を招かないように投棄物を回収した。

なお、投棄場所が私有地の場合、所有者に連絡して対応を求めた。

ア 主な不法投棄物の回収状況(過去3年間の推移)

年度	テレビ	冷蔵庫 冷凍庫	洗濯機 衣類乾燥機	エアコン	タイヤ	消火器	ガス ボンベ	業務用 冷蔵庫等
30年度	台 39	台 8	台 11	台 0	本 69	本 21	本 0	台 0
元年度	57	18	15	4	94	155	0	0
2年度	63	25	12	4	53	76	5	10

8 広告収入の推進

新たな財源の確保及び事業経費の削減を図るため、じん芥収集車両・ごみカレンダーにおいて広告主の募集を行い、企業広告を掲載した。

なお、ごみカレンダーは、地区別ごみの収集日を記載し、広報いせ3月1日号と同時に全戸に配布した。

(令和3年度版作成数 ごみカレンダー65,000部)

事業名	広告媒体	広告掲載数	収入額
じん芥収集車両掲載広告事業	じん芥収集車両	台 4	円 564,000
ごみ減量・資源化事業一般経費	ごみカレンダー	枠 16	480,000
計	-	20	1,044,000

一般廃棄物収集関係

市内の一般廃棄物（燃えるごみ、粗大ごみ、資源物及び小動物の死体）を車両 27 台、収集人員 37 名の体制（一部民間委託）で収集を行った。収集した一般廃棄物については、伊勢市、玉城町、明和町、度会町の 4 市町で構成する伊勢広域環境組合、古紙業者及び民間業者へ搬入し処理を行った。

また、ハッピーマンデー（令和 2 年度は年 2 回：敬老の日、成人の日）年末（12 月 29 日）について臨時収集を行った。

1 収集体制

（1）収集車両

一般廃棄物（燃えるごみ、資源物、粗大ごみ及び小動物の死体）の収集を 27 台の車両で行った。

ア 所管している車両

単位：台

4 t パッカー	3 t パッカー	2 t パッカー	2 t ダンプ	2 t パワーリフト
1	6	6	5	1
2 t トラック	1 t トラック	軽 四 ダンプ	軽 四 トラック	計
2	1	4	1	27

（2）収集人員

一般廃棄物（燃えるごみ、資源物、粗大ごみ及び小動物の死骸）の収集を職員 37 名の人員で行った。

（3）委託関係

資源物回収袋の洗浄及び補修業務を伊勢市シルバー人材センター、町内一斉粗大ごみ収集運搬業務、二見町地区の資源物収集運搬業務の一部、旧伊勢市地区の資源物収集運搬業務の一部を民間業者に委託した。

また、二見町地区の燃えるごみ及び缶・金属類、旧伊勢市地区の燃えるごみ及び資源物の収集運搬業務の一部、小俣町地区及び御園町地区の燃えるごみ及び資源物の収集運搬業務を、下水道の整備等に伴う一般廃棄物処理業等の合理化に関する特別措置法により定めた各地区の合理化事業計画（旧伊勢市地区、小俣町地区及び御園町地区）に基づき、旧伊勢市地区の 4 業者、小俣町地区の 2 業者、御園町地区の 1 業者に委託した。

伊勢市が保管している高濃度ポリ塩化ビフェニル廃棄物を安全かつ適正に処理するため、収集運搬及び処理業務をそれぞれ委託した。

施行場所	委 託 名	委 託 概 要	金 額	着 手	完 了
伊 勢 市 地 内	資源物回収袋洗浄等 業務委託	回収袋の洗浄及び補修業 務委託 一式	円 11,576,673 【単価契約】 902～1,256 円/人日 事務費 8%	2. 4. 1	3. 3. 31
"	町内一斉粗大ごみ 収集運搬(その1) 業務委託	町内一斉粗大ごみ収集運搬 業務委託(可燃系粗大ごみ) 一式	14,060,640 【単価契約】 288,000 円/日(税抜)	2. 4. 1	3. 3. 31
"	町内一斉粗大ごみ 収集運搬(その2) 業務委託	町内一斉粗大ごみ収集運搬 業務委託(非圧縮粗大ごみ) 一式	2,973,520 【単価契約】 60,000 円/日(税抜)	2. 4. 1	3. 3. 31
"	町内一斉粗大ごみ 収集運搬(その3) 業務委託	町内一斉粗大ごみ収集運搬 業務委託(金属混成粗大ご み) 一式	5,427,708 【単価契約】 104,000 円/日(税抜)	2. 4. 1	3. 3. 31
"	町内一斉粗大ごみ 収集運搬(その4) 業務委託	町内一斉粗大ごみ収集運搬 業務委託(自転車) 一式	6,038,890 【単価契約】 130,000 円/日(税抜)	2. 4. 1	3. 3. 31
伊 勢 市 地 内 (旧伊勢市 地 区)	一般廃棄物収集運搬 (その1)業務委託	一般廃棄物収集運搬業務 委託(燃えるごみ、プラス チック製容器包装) 一式	74,654,800	2. 4. 1	3. 3. 31
"	一般廃棄物収集運搬 (その2)業務委託	一般廃棄物収集運搬業務 委託(ペットボトル) 一式	39,446,000	2. 4. 1	3. 3. 31
伊 勢 市 地 内 (旧伊勢市 地区及び二 見町地内)	一般廃棄物収集運搬 (その3)業務委託	一般廃棄物収集運搬業務 委託(燃えるごみ、缶・金 属類、プラスチック製容器 包装) 一式	104,593,500	2. 4. 1	3. 3. 31
小 俣 町 地 内	一般廃棄物収集運搬 (その4)業務委託	一般廃棄物収集運搬業務 委託(燃えるごみ、缶・金 属類、資源びん、紙・布類、 プラスチック製容器包装、 ペットボトル、ガラス・く ずびん類、陶磁器類) 一式	72,600,000	2. 4. 1	3. 3. 31
御 園 町 地 内	一般廃棄物収集運搬 (その5)業務委託	一般廃棄物収集運搬業務 委託(燃えるごみ、缶・金 属類、資源びん、紙・布類、 プラスチック製容器包装、 ペットボトル、ガラス・く ずびん類、陶磁器類) 一式	36,245,000	2. 4. 1	3. 3. 31

伊勢市内 (旧伊勢市 地区)	一般廃棄物収集運搬 (その7)業務委託	一般廃棄物収集運搬業務 委託(燃えるごみ、ガラ ス・くずびん類、陶磁器類) 一式	円 50,704,500	2. 4. 1	3. 3.31
小俣町 内	一般廃棄物収集運搬 (その8)業務委託	一般廃棄物収集運搬業務 委託(燃えるごみ、缶・金 属類) 一式	13,662,000	2. 4. 1	3. 3.31
伊勢市内 (旧伊勢市 地区)	一般廃棄物収集運搬 業務委託(資源びん、 紙・布類)(旧伊勢市地 区)	一般廃棄物収集運搬業務 委託(資源びん、紙・布類) 一式	67,271,500	2. 4. 1	3. 3.31
二見町 内	一般廃棄物収集運搬 業務委託(缶・金属類 を除く資源物)(二見 町地区)	一般廃棄物収集運搬業務 委託(缶・金属類を除く資 源物) 一式	15,648,600	2. 4. 1	3. 3.31
北九州市 内	高濃度ポリ塩化ビフ ェニル廃棄物処理委 託	高濃度ポリ塩化ビフェニ ル廃棄物処理 一式	18,284,112	2. 6. 3	3. 3.17
伊勢市及び 北九州市 内	高濃度ポリ塩化ビフ ェニル廃棄物収集運搬業 務委託	高濃度ポリ塩化ビフェニ ル廃棄物収集運搬業務 一式	205,700	2. 9. 3	3. 2. 6
計	16 件	-	533,393,143	-	-

合計は、各行の最上段を合算

2 燃えるごみの収集状況

燃えるごみの収集については、市内全域を2地区(月・木曜日地区、火・金曜日地区)に分け、各地区において週2回収集した。旧伊勢市地区のうち7地区、二見町、小俣町及び御園町については、業務委託により収集を行った。

有料収集については、戸別に粗大ごみの収集を行った。

町内一斉粗大ごみ収集については、市内各自治会(区)の要請により自治会毎に年1回、業務委託により収集を行った。

早朝清掃、ボランティア清掃等に伴い発生するごみについては、随時収集を行った。

3 資源物の収集状況

缶・金属類、資源びん、紙・布類(新聞・折込チラシ、雑誌・雑紙類、段ボール、飲料用紙パック、布・衣類)、ペットボトル、プラスチック製容器包装、ガラス・くずびん類、陶磁器類について、市内を22地区(旧伊勢市地区16、二見町地区2、小俣町地区2、御園町地区2)に分け、1,012か所の資源ステーションを設置し、プラスチック製容器包装は週1回、缶・金属類、資源びん、紙・布類、ペットボトル、ガラス・くずびん類、陶磁器類は月1回収集を行った。

乾電池、蛍光管については、資源拠点ステーションや市内公共施設の一部113か所で適時収集を行った。

4 資源拠点ステーションの開設状況

資源物の収集効率の向上を図るため、資源拠点ステーションを平成 14 年度から順次開設している。開設状況としては、令和 3 年 3 月末現在で 19 か所（伊勢中央・宇治・船江・城田・中島・佐八・明倫・神社・厚生・早修・北浜・宮本・沼木・大湊・いせトピア・二見・小俣・御園及び明野）を開設し、支所での管理のほか、公益社団法人伊勢市シルバー人材センター、地元自治会等にステーションでの受付等の業務を委託した。

（1）委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
船江4丁目 地内ほか	資源拠点ステーション受付等業務委託	資源物受付及び搬入 車両誘導等業務 一式	円 9,853,968 【単価契約】 902~1,256 円/人日 事務費 8%	2. 4. 1	3. 3. 31
宮後2丁目 地内	伊勢中央資源拠点ステーション受付等業務委託	資源物受付及び搬入 車両誘導等業務 一式	2,090,000	2. 4. 1	3. 3. 31
宇治浦田 2丁目 地内	宇治資源拠点ステーション受付等業務委託	資源物受付及び搬入 車両誘導等業務 一式	730,000	2. 4. 1	3. 3. 31
中須町 地内	城田資源拠点ステーション受付等業務委託	資源物受付及び搬入 車両誘導等業務 一式	730,000	2. 4. 1	3. 3. 31
二見町三津 地内	二見資源拠点ステーション受付等業務委託	資源物受付及び搬入 車両誘導等業務 一式	730,000	2. 4. 1	3. 3. 31
計	5 件	-	14,133,968	-	-

合計は、各行の最上段を合算

（2）工事関係

施設の安全対策及び維持管理のため、移設工事等を行った。

施工場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
小俣町明野 地内	小俣 1-11 資源ステーション解体工事	既設プレハブ庫解体 1 棟	円 99,000	2. 5. 11	2. 6. 3
八日市場町 地内	厚生資源ステーション拡幅工事	フェンス増設 一式	1,299,100	2. 7. 14	2. 9. 25
宮後2丁目 地内	中央資源拠点ステーション空調機修繕工事	既設空調機修繕 1 台	86,900	2. 8. 6	2. 8. 20
小俣町湯田 地内	小俣 2-2 資源ステーション移設工事	既設プレハブ庫移設 1 棟	55,000	2. 11. 6	2. 12. 11
計	4 件	-	1,540,000	-	-

5 一般廃棄物処理手数料

（1）有料収集、小動物の死体の処理

粗大ごみ等の有料収集やペットとして飼われていた小動物の死体の収集について、手数料を徴収している。

区分	手数料	
	件数	金額
粗大ごみ等	件 865	円 2,400,340
小動物の死体	51	52,550
合計	916	2,452,890

(2) 天災等特別な事由により発生した一般廃棄物の処理

火災及び風害被災者の収集については、一般廃棄物処理手数料の免除を行った。

区分	火災被害者	風害被害者	計
件数	4	2	6

6 伊勢市ふれあい収集事業

一人暮らしで一定以上の介護認定を受けている高齢者や身体が不自由な方など、燃えるごみや資源物を自ら集積所等まで出すことが困難な家庭に対し、燃えるごみ及び資源物の戸別収集を行う、ふれあい収集事業を実施した。(収集回数 53 回、収集量 8,250kg)

利用希望者の申請をもとに 7 回の審査会を開催し、9 件の審査の結果 9 件の実施を決定した。令和 3 年 3 月末現在において、36 件の収集を実施している。

伊勢広域環境組合

伊勢市、玉城町、明和町、度会町の 1 市 3 町で構成する伊勢広域環境組合が、ごみの適正処理を衛生的、効率的に行えるよう負担金を支出した。また、現在のごみ処理施設においては、老朽化が著しいことから、新ごみ処理施設の更新に向けて、伊勢広域環境組合と連携し、取り組んでいる。

1 分担金内訳

区分	伊勢市分			備考
	ごみ	粗大ごみ	計	
共通経費	千円 5,759	千円 1,332	千円 7,091	平等割 10% 加入事務数割 90%
運営経費	436,081	100,791	536,872	実績割 100%
建設経費	479,437		479,437	平等割 10% 人口割 90%
公債費	180,177		180,177	元利補給金
清掃事業所負担金	3,457.8		3,457.8	
計	1,104,911.8	102,123	1,207,034.8	